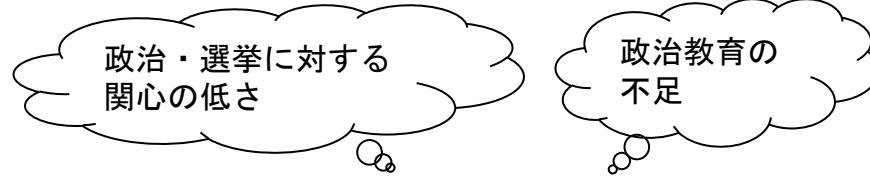


若年層の投票率向上推進プランの概要

参考資料 1

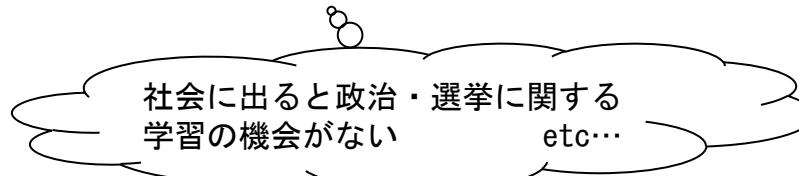
このプランは、若年層や未来の有権者をターゲットとし、県選管が選挙啓発事業により効果的に実施するための行動指針となるものです。

選挙における現状と課題



若年層の低投票率

とりわけ20歳代を中心とした若者の投票率が低い



県選管に求められること

- 選挙や政治に対する関心、意識向上の推進を図る工夫
- 児童生徒や学生、社会人をターゲットにした、踏み込んだ啓発
- 様々な組織等との連携の積極的な検討

プランの推進について

推進期間:令和5(2023)年度から令和7(2025)年度までの3年間

県選管の取組方針

取組方針 I

若者の関心を引き、選挙を身近に感じてもらう「惹きつける啓発活動」

- 概ね18歳から34歳までの生徒や社会人等に対する啓発
- 主に間近に控える選挙の投票率向上が目的
- 新規の啓発手法の検討に当たっては、「若者にとって魅力ある内容」を重視

取組例

- | | |
|---------------------|------------------|
| ■ 新有権者向け選挙啓発資材の作成 | ■ 若年層向けデジタル広告の配信 |
| ■ 若年層を対象としたセミナー等の実施 | ■ 社会人向け選挙啓発資料の作成 |
- など

取組方針 II

将来の投票率向上のための「未来の有権者の育成」

- 18歳未満の児童生徒等に対する啓発
- 主に将来行われる選挙の投票率向上が目的
- 新規の啓発手法の検討に当たっては、「体験活動」を重視

取組例

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| ■ 親子連れ投票促進事業の実施 | ■ 体験を重視した内容による選挙出前講座の実施 |
| ■ 投票所等における生徒による選挙啓発の実施 | など |

取組方針 III

機関の垣根を越えた「社会総がかりの体制づくり」

- 市町選挙管理委員会や教育機関、企業、N P O 法人などと連携協力して、多様な主体による啓発を行うための体制づくり
- 啓発を行う主体が増えることによる継続的な選挙啓発の強化が目的
(従来の啓発及び取組方針 I ・ II に基づく啓発を補強する視点)

取組例

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| ■ 企業等との連携の強化 | ■ 家庭内における親子連れ投票等を通じた啓発の促進 |
| ■ 教育委員会や学校との連携の強化 | ■ とちぎ選挙ユースサロンの活動の強化 |
| ■ 市町選挙管理委員会・市町明るい選挙推進協議会等との連携の強化 | など |

※ 各種事業の着実な改善・強化を推進するために、「重点取組事業」を毎年度決定し、PDCAサイクルにより柔軟に事業や目標設定の見直しを行います。

若年層の投票率向上推進プラン取組実績

取組方針 I 若者の関心を引き、選挙を身近に感じてもらう「惹きつける啓発活動」

【選挙啓発資材の作成】

<目的>

- ・新有権者に啓発資材を配布し、選挙意識の向上を図る。

<内容>

- ・継続的に使用可能な啓発資材とすることで持続的な選挙意識の向上を図ることができるため、クリアファイルを作成することとした。
- ・若者の関心を引く内容とするため、若手デザイナーを起用した。
- ・R 5、R 6 は県内全ての高校 3 年生に配布したが、主権者教育の記憶がより残るように、R 7 は選挙啓発出前講座受講生を配布対象とした。

<実績>

- ・配布部数（部）

令和 5 年度 19,000 部

令和 6 年度 18,500 部

令和 7 年度 6,000 部



クリアファイルデザイン

【選挙啓発教材の作成】

<目的>

- ・政治意識の向上には継続的な選挙啓発が重要であるが、社会人になってからの選挙啓発の機会が少ない状況であるため、社会人に向けた啓発資材を作成する。



<内容>

- ・投票に行く重要性を伝えるパラパラ漫画ムービーを制作した。また、とちぎ選挙啓発サポーターの加入企業、団体での利用を想定し、e-ラーニングを作成した。
- ・政治意識の向上と併せて、寄附禁止等の法令遵守の側面も教材に取り入れた。



<実績>

- ・令和 6 年 12 月完成

【高校生向けオンラインセミナーの実施】

<目的>

- ・在学中に有権者になることが多い高校生を対象にした啓発事業を実施する。

<内容>

- ・主権者教育に取り組む（株）笑下村塾協力のもと、たかまつなな氏とお笑い芸人を講師として楽しく政治や選挙を学べるセミナーを開催した。
- ・複数の学校が同時に参加できるようにオンライン形式とした。
- ・教育委員会高校教育課を通して参加校を募集した。

<実績>

- ・実施校数（校）

令和5年度 65校

※「ふれあい活動高校生のつどい（県内高校等を対象として、活動発表や意見交換を行う事業）」内にて実施した。

令和6年度 1校

令和7年度 2校



【インターネット、SNSの活用】

<目的>

- ・若年有権者に向けて選挙に関する情報発信を行うため、利用者の多いインターネットやSNSでデジタル広告を配信する。

<内容>

- ・選挙時にXやInstagram、Youtubeでデジタルターゲティング広告、啓発動画を配信した。

<実績>

- ・広告配信回数

令和5年県議選 34万回

令和6年衆院選 645万回

令和6年知事選 1,382万回

令和7年参院選 1,485万回



取組方針Ⅱ 将来の投票率向上のための「未来の有権者の育成」

【親子連れ投票記念証の配布】

<目的>

- ・子どもにとって投票所へ行った経験がより記憶に残る取組を行い、将来の投票につなげる。

<内容>

- ・市町選挙管理委員会協力のもと、親と投票所に来た子どもに対して、「親子連れ投票記念証」を配布した。
- ・子どもに次回も投票所に行きたいと思ってもらうために、選挙ごとにデザインを変更した。

<実績>

- ・作成枚数
 - 令和5年県議選 15,000枚
 - 令和6年衆院選 21,000枚
 - 令和6年知事選 21,000枚
 - 令和7年参院選 41,000枚



親子連れ投票記念証（R7 参議）

【親子連れ投票促進メッセージカードの配布】

<目的>

- ・子どもの将来の投票行動に影響を与える親子連れ投票の制度を保護者に周知、普及する。

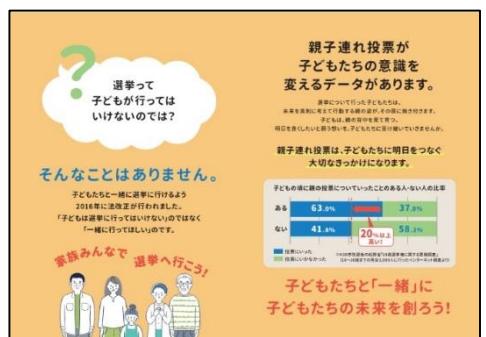
<内容>

- ・内容は保護者向けとした。小学1～3年生に学校で配布した。
- ・ポスターコンクールの入賞作品をデザインに起用した。



<実績>

- ・配布枚数
 - 令和5年度 53,000枚
 - 令和6年度 51,000枚
 - 令和7年度 50,000枚



親子連れ投票促進メッセージカード（R7 配布）

【明るい選挙ポスター・コンクールの実施】

<目的>

- 小学生、中学生、高校生が参加できる啓発活動を実施する。

<内容>

- 優秀賞作品については受賞者を対象にした表彰式や県庁15階での作品展示を実施した。
- 選挙公報や親子連れ投票促進メッセージカード等の啓発資材へ掲載するなど、選挙啓発に活用した。

<実績>

・応募数

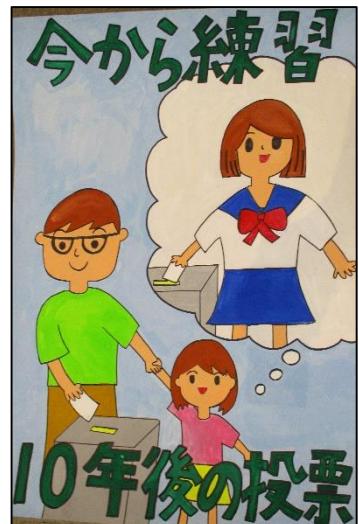
令和5年度 1,922点

令和6年度 1,978点

令和7年度 2,192点

・活用事例

選挙公報、親子連れ投票促進メッセージカード等の啓発資材



R7 入賞作品

【選挙啓発出前講座の実施】

<目的>

- 学校等を対象とした選挙啓発出前講座を実施して、受講した生徒等の選挙制度への理解を深め、選挙の大切さを伝えるとともに、主権者として選挙への主体的な参加を促す。

<内容>

- 選挙管理委員会事務局が学校に赴き、選挙に関する講義や模擬投票を実施した。
- 模擬投票では市町選挙管理委員会の協力のもとで、実際の選挙で使用している投票箱や記載台を使用した。
- R7年度から新たな選択肢として、主権者ピア・エデュケーション事業（若年層の講師が講義等を行うことで、より身近で理解しやすい選挙教育を実現し、新有権者の選挙意識の向上と選挙への積極的な参加を促す事業）を開始した。



<実績>

・実施校数（校）

	目標	県実績	市町実績（市町数）
令和5年度	17（県）	19	29（8）
令和6年度	60（県・市町）	16	27（9）
令和7年度	60（県・市町）	17	

取組方針Ⅲ 機関の垣根を越えた「社会総がかりの体制づくり」

【とちぎ選挙啓発サポーターの登録・活用】

<目的>

- 選挙啓発を自主的に支援する企業や団体等を「とちぎ選挙啓発サポーター」として募集、登録し、若年層社会人等への投票促進を図る。

<内容>

- 登録した企業や団体等に対して登録証を交付した。また、登録一覧や選挙時の取組については、選挙管理委員会のホームページやSNSで公開した。
- 登録企業等には、施設内における啓発ポスターの掲示、ホームページやSNSにおけるバナー広告の掲出、期日前投票の推奨、呼びかけを依頼した。



とちぎ選挙啓発サポーター活動の様子(R7 参議)

<実績>

- 登録団体数 50 団体（令和7年12月1日時点）

【市町選挙管理委員会・市町明るい選挙推進協議会との連携の強化】

<目的>

- 県と市町が一体となって啓発に取り組むため、連携を強化する。
- 期日前投票が定着し、投票者に占める割合が3～5割に増加しているため、期日前投票所の投票環境を充実させ、有権者がより投票しやすい環境をつくるよう呼びかける。

<内容>

- 市町選管や市町明推協との意見交換や先進事例の共有を行うための会議を新設した。
- 期日前投票所の土日開設日数拡大やショッピングセンター等の集客施設の活用を市町に要請した。



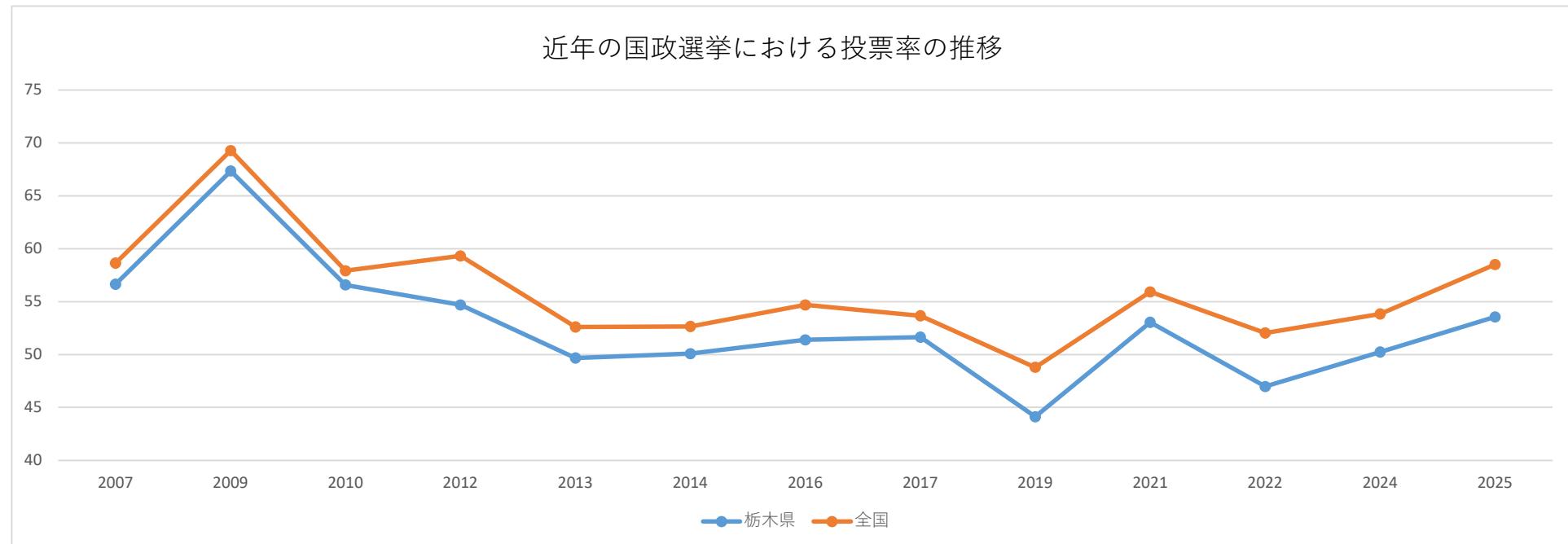
会議の様子

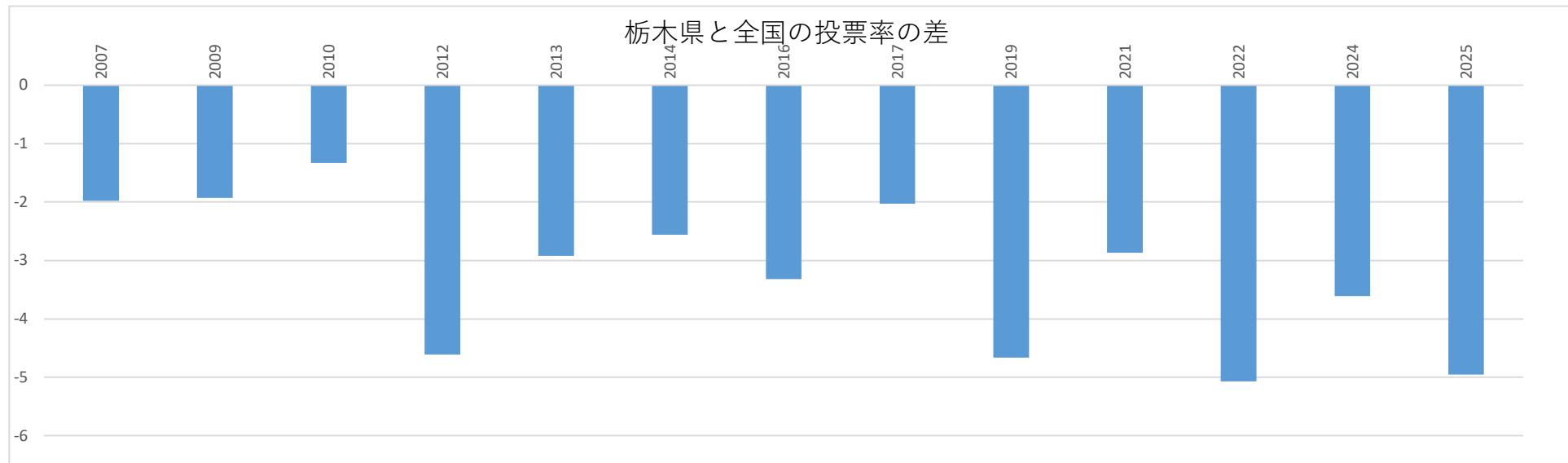
<実績>

- 選挙啓発書記長等会議、選挙啓発事務担当者会議、市町選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会合同会議を毎年開催した。
- 令和6年衆院選から、2市で移動期日前投票所を開設した。
- 令和7年参院選において、5市が土日の期日前投票所を拡充した。また、1市が新たにショッピングモールに期日前投票所を開設した。

近年の国政選挙における投票率の推移（栃木県・全国）

	2007 H19参	2009 H21衆	2010 H22参	2012 H24衆	2013 H25参	2014 H26衆	2016 H28参	2017 H29衆	2019 R1参	2021 R3衆	2022 R4参	2024 R6衆	2025 R7参
栃木県	56.66	67.35	56.59	54.71	49.69	50.10	51.38	51.65	44.14	53.06	46.98	50.24	53.56
全国	58.64	69.28	57.92	59.32	52.61	52.66	54.70	53.68	48.80	55.93	52.05	53.85	58.51
栃木県－全国	-1.98	-1.93	-1.33	-4.61	-2.92	-2.56	-3.32	-2.03	-4.66	-2.87	-5.07	-3.61	-4.95
順位	36	41	35	45	40	36	38	36	43	41	44	43	46

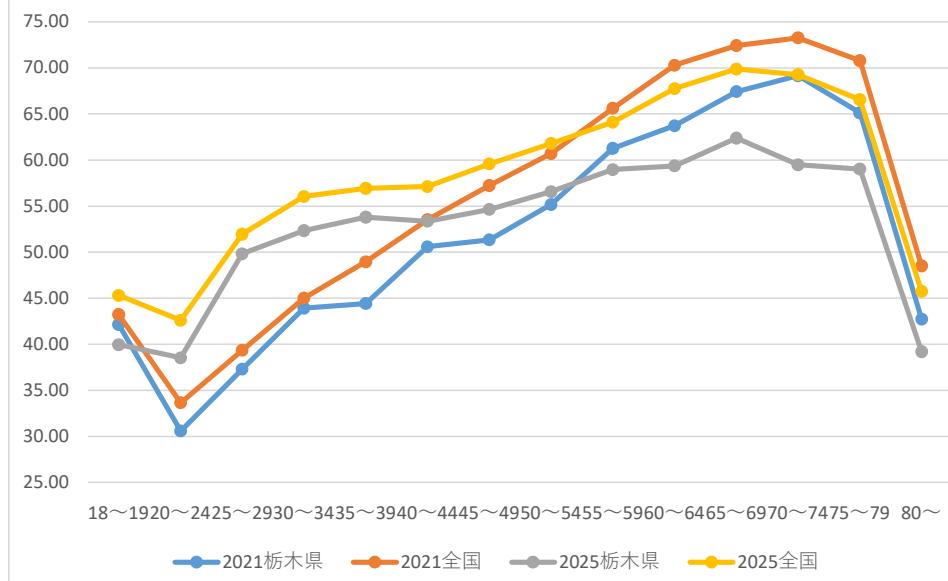




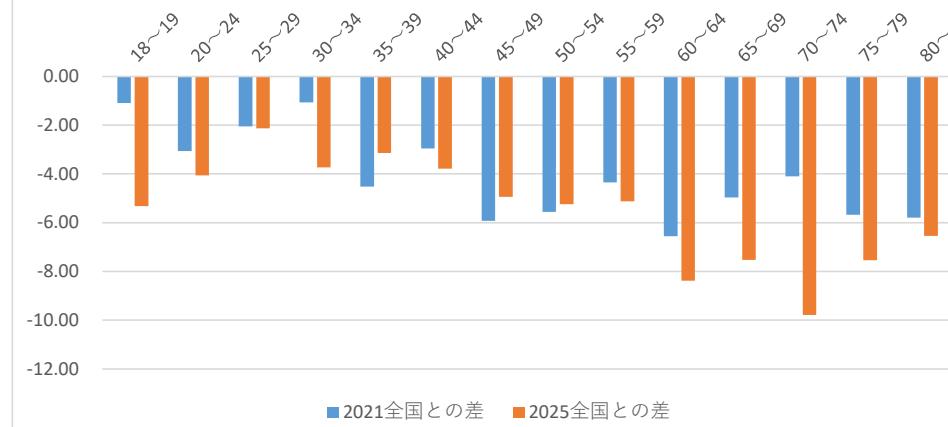
近年の国政選挙における年代別投票率の状況(栃木県)

	R3(2021) 衆		R7(2025) 参	
	栃木県	全国	栃木県	全国
18~19	42.14	43.23	39.97	45.29
20~24	30.58	33.64	38.54	42.60
25~29	37.29	39.34	49.84	51.97
30~34	43.94	45.01	52.33	56.06
35~39	44.43	48.95	53.79	56.92
40~44	50.59	53.55	53.36	57.14
45~49	51.34	57.26	54.65	59.59
50~54	55.18	60.73	56.57	61.81
55~59	61.27	65.62	58.98	64.10
60~64	63.74	70.29	59.37	67.75
65~69	67.45	72.42	62.38	69.90
70~74	69.16	73.27	59.50	69.28
75~79	65.12	70.79	59.03	66.57
80~	42.72	48.51	39.19	45.73
全体	53.06	55.93	53.56	58.51

近年の国政選挙の年代別投票率(2021-2025)

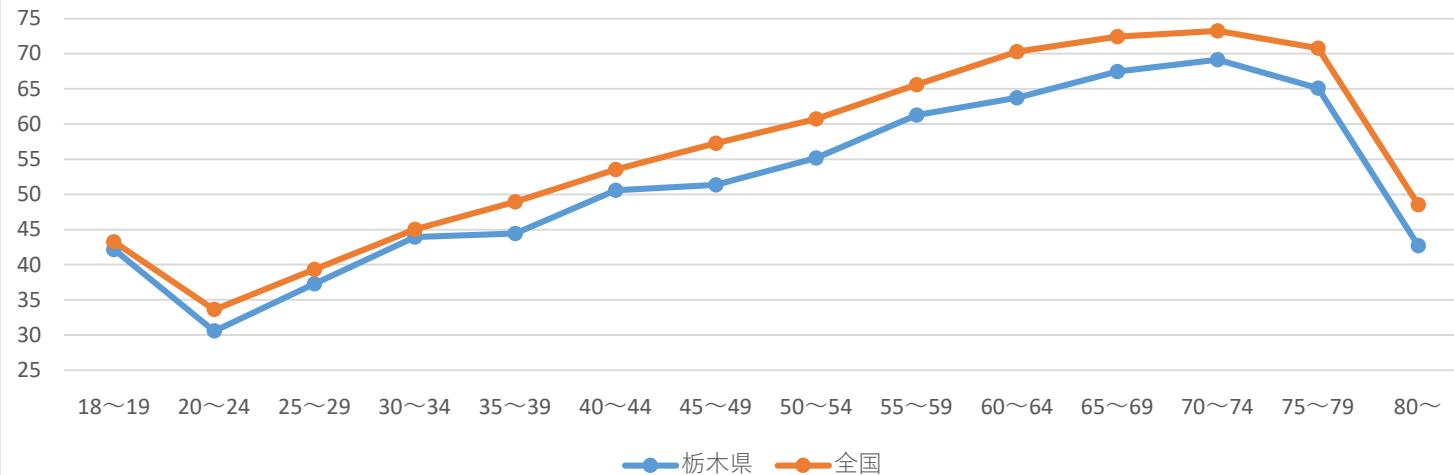


全国平均と栃木県との差

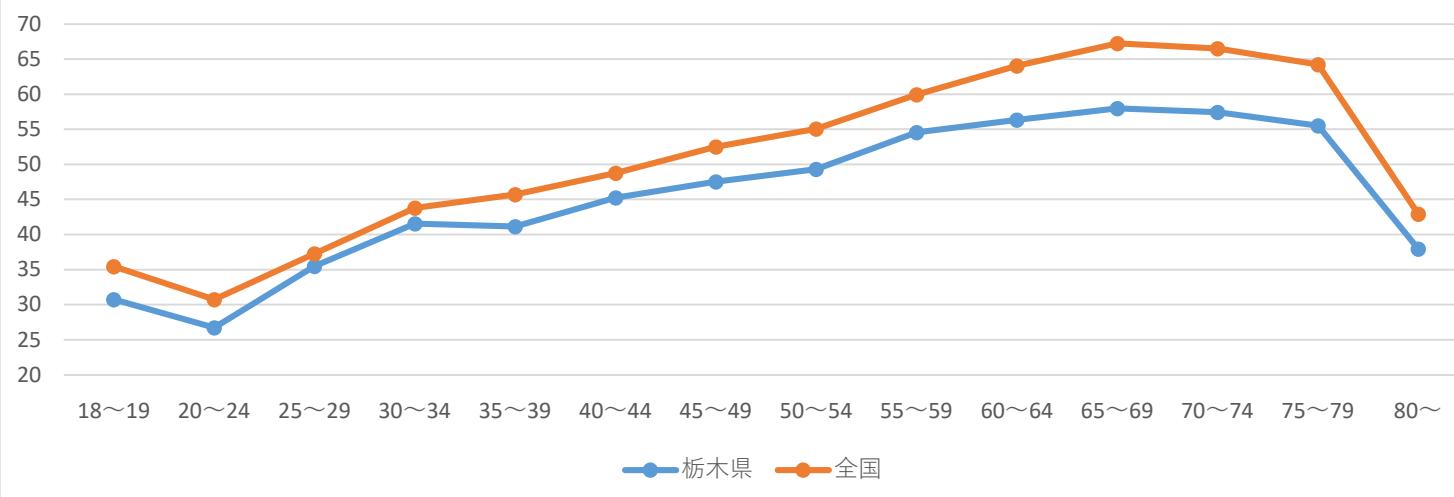


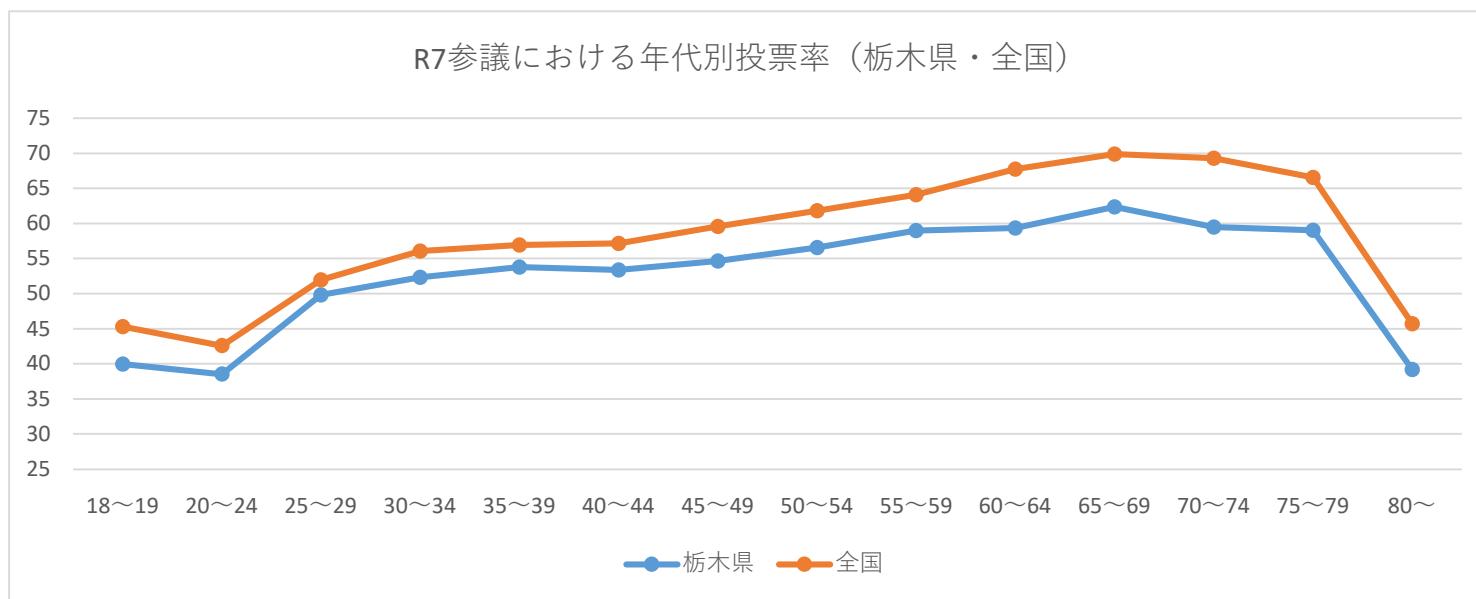
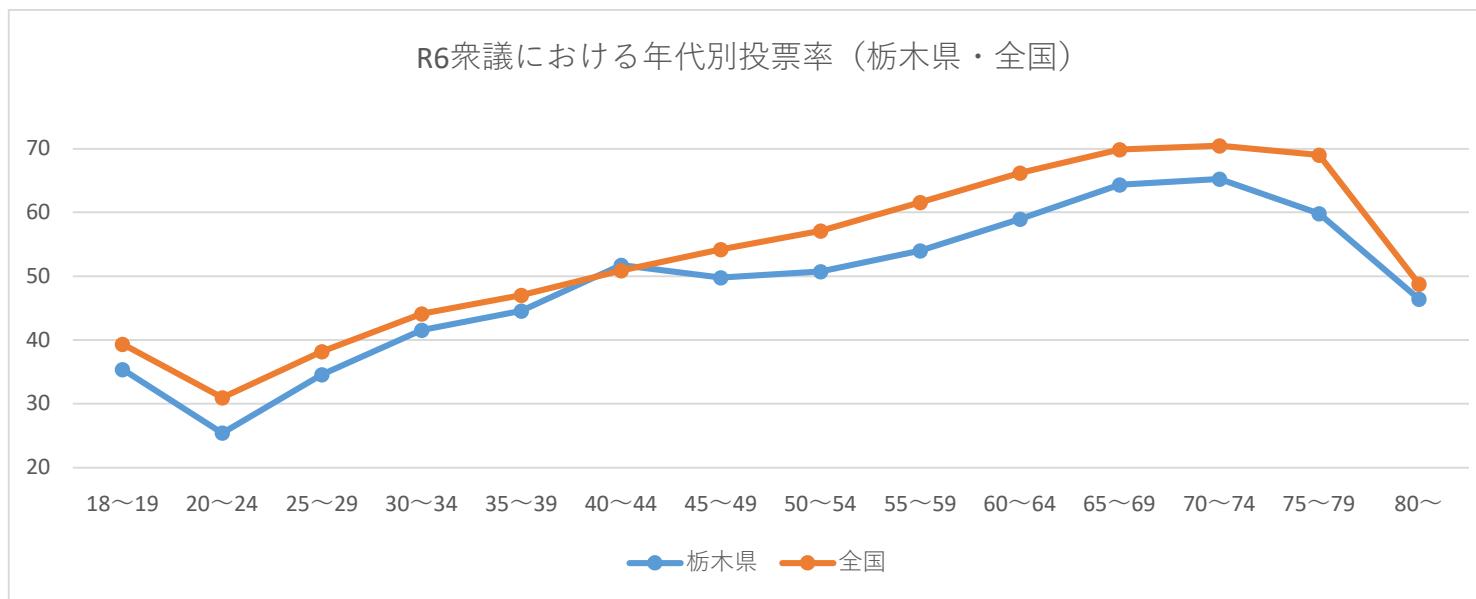
近年の国政選挙における年代別投票率の状況(全国・栃木県)

R3衆議における年代別投票率 (栃木県・全国)



R4参議における年代別投票率 (栃木県・全国)





近年の国政選挙における年代別投票率の推移（全国）

	2007	2009	2010	2012	2013	2014	2016	2017	2019	2021	2022	2024	2025	2021-2007	2025-2007	2025-2021
	H19参	H21衆	H22参	H24衆	H25参	H26衆	H28参	H29衆	R1参	R3衆	R4参	R6衆	R7参			
18~19							45.45	41.51	32.28	43.23	35.42	39.43	45.29	皆増	皆増	2.06
20~24	31.53	46.66	33.68	35.30	31.18	29.72	33.21	30.74	28.21	33.64	30.75	30.99	42.60	2.11	11.07	8.96
25~29	38.31	52.13	38.49	40.25	35.41	35.32	37.91	36.90	33.76	39.34	37.26	38.19	51.97	1.03	13.66	12.63
30~34	43.56	61.15	45.93	47.07	40.93	39.74	41.85	42.46	37.48	45.01	43.77	44.10	56.06	1.45	12.50	11.05
35~39	50.82	66.29	51.21	52.64	46.18	44.15	46.37	46.78	39.94	48.95	45.68	47.02	56.92	-1.87	6.10	7.97
40~44	57.14	70.37	56.15	56.69	48.90	47.44	50.30	51.91	44.17	53.55	48.75	50.90	57.14	-3.59	0.00	3.59
45~49	61.78	75.03	61.67	62.47	54.86	52.81	55.13	55.17	47.70	57.26	52.49	54.19	59.59	-4.52	-2.19	2.33
50~54	66.57	78.87	65.84	66.68	60.31	58.12	61.51	61.12	52.86	60.73	55.03	57.13	61.81	-5.84	-4.76	1.08
55~59	69.33	80.38	69.54	69.27	63.19	61.98	65.00	65.51	58.16	65.62	59.93	61.55	64.10	-3.71	-5.23	-1.52
60~64	74.44	83.36	73.82	73.17	65.51	66.43	68.16	70.33	61.95	70.29	64.03	66.19	67.75	-4.15	-6.69	-2.54
65~69	77.54	85.04	78.45	77.15	69.98	70.11	71.65	73.42	65.02	72.42	67.25	69.84	69.90	-5.12	-7.64	-2.52
70~74	75.28	83.34	76.85	76.47	70.94	72.16	73.67	74.16	66.52	73.27	66.48	70.47	69.28	-2.01	-6.00	-3.99
75~79	72.16	77.68	70.89	71.02	66.43	67.36	70.13	70.26	65.42	70.79	64.20	68.99	66.57	-1.37	-5.59	-4.22
80~	49.81	56.10	49.34	48.08	44.75	44.89	47.16	46.83	43.37	48.51	42.91	48.79	45.73	-1.30	-4.08	-2.78
全体	59.14	70.99	59.93	60.11	54.13	53.84	54.70	53.68	48.80	55.93	52.05	53.85	58.51	-3.21	-0.63	2.58

国政選挙における年代別投票率（栃木県）

上昇
下降

	2021	2022	2024	2025	2025-2021
18~19	42.14	30.76	35.40	39.97	-2.17
20~24	30.58	26.73	25.44	38.54	7.96
25~29	37.29	35.47	34.58	49.84	12.55
30~34	43.94	41.57	41.54	52.33	8.39
35~39	44.43	41.16	44.55	53.79	9.36
40~44	50.59	45.25	51.73	53.36	2.77
45~49	51.34	47.54	49.80	54.65	3.31
50~54	55.18	49.32	50.72	56.57	1.39
55~59	61.27	54.55	54.02	58.98	-2.29
60~64	63.74	56.33	58.95	59.37	-4.37
65~69	67.45	57.97	64.31	62.38	-5.07
70~74	69.16	57.43	65.26	59.50	-9.66
75~79	65.12	55.51	59.84	59.03	-6.09
80~	42.72	37.93	46.41	39.19	-3.53
全体	53.06	46.98	50.24	53.56	0.50

国政選挙における各世代の投票率の推移（全国） コーホート分析

	2000	2005	2010	2014	2019	2025	
2000の年齢	H12衆	H17衆	H22参	H26衆	R1参	R7参	2025の年齢
A 0~4					28.21	51.97	20~24 30歳到達
B 5~9				29.72	33.76	56.06	30~34
C 10~14			33.68	35.32	37.48	56.92	35~39 40歳到達
D 15~19		43.28	38.49	39.74	39.94	57.14	40~44
E 20~24	35.64	48.83	45.93	44.15	44.17	59.59	45~49 50歳到達
F 25~29	40.62	56.71	51.21	47.44	47.70	61.81	50~54
G 30~34	51.73	63.22	56.15	52.81	52.86	64.10	55~59
H 35~39	62.22	70.25	61.67	58.12	58.16	67.75	60~64
I 40~44	67.00	73.69	65.84	61.98	61.95	69.90	65~69 70歳到達
J 45~49	69.09	76.10	69.54	66.43	65.02	69.28	70~74
K 50~54	70.38	79.38	73.82	70.11	66.52	66.57	75~79
L 55~59	73.83	82.55	78.45	72.16	65.42	45.73	80~
M 60~64	78.39	83.69	76.85	67.36	43.37		
N 65~69	80.09	80.97	70.89	44.89			特に低い
O 70~74	78.77	75.55	49.34				平均以下
P 75~79	73.84	52.69					平均以上
Q 80~	53.88						
全体	63.95	68.24	59.93	53.84	48.80	58.51	

概ねの傾向

1 各世代とも概ね70歳を境に投票率が上昇から下降に転じる

2 2000年には20・30歳代は平均投票率を下回り、40歳を超えて上回る傾向にあったが、近年は45～50歳まで平均を下回るようになった。

3 その主たる要因はB～F世代(現在30～54歳)の低投票率にある。

特に、BCD世代(現在30～44歳)の投票率は、若い年代から低く、年齢とともに上昇傾向にはあったが、微増にとどまり4割未満を推移していた。

この世代の投票率は、2025年参議院選において大きく上昇したが、一時的現象なのか、定着するのかは、不透明である。

国政選挙における投票率と投票環境（全国・栃木県）

1 投票率

	2007	2025
全国	58.64	58.51
栃木県	56.66	53.56
差（ポイント）	△1.98	△4.95
順位	36	46

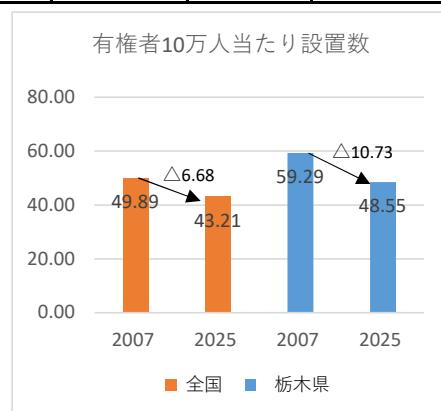
2 当日投票所設置数

(1) 全国

	2007 (H19参)	2025 (R7参)	差	増加率
設置数	51,742	44,758	△6,984	△13.50%
設置数（有権者10万人当たり）	49.89	43.21	△6.68	
指標	100	86.50	△13.50	

(2) 栃木県

	2007 (H19参)	2025 (R7参)	差	増加率
設置数	963	771	△192	△19.94%
設置数（有権者10万人当たり）	59.29	48.55	△10.73	
指標	100	80.06	△19.94	



3 期日前投票所設置数

(1) 全国

	2007 (H19参)	2025 (R7参)	差	増加率
設置数	4,519	6,905	2,386	+52.80%
設置数（有権者10万人当たり）	4.36	6.67	2.31	
指標	100	152.80	52.80	

(2) 栃木県

	2007 (H19参)	2025 (R7参)	差	増加率
栃木県	118	159	41	+34.75%
設置数（有権者10万人当たり）	7.26	10.01	2.75	
指標	100	134.75	34.75	



第27回参議院議員通常選挙の結果について

1 投票率の状況

(1) 全国の状況【表1・2】

- ・本県の投票率は53.6%、全国の58.5%を4.9ポイント下回る46位と、前回の44位から順位を下げた。
- ・前回比の上昇幅は全国6.5ポイントを上回る6.6ポイント(24位)
- ・これには、期日前投票率の上昇幅7.8ポイント(9位)が寄与したと考えられる。

(2) 県内(市町別)の状況【表3】

- ・高根沢町が前回比11.4ポイント上昇の60.7%で1位になったほか、今回期日前投票所(土日)を拡充した5市(那須烏山、小山、大田原、宇都宮、鹿沼)が県平均を上回る上昇となった。

(3) 県内(年代別)の状況【表4】

- ・18~54歳の若年・中堅層の上昇率が県平均を上回り、特に20~39歳が二桁の上昇幅となり、投票率上昇に大きく寄与した。
- ・一方、55歳以上の上昇幅は小さく、年齢別の投票動向に変化が生じている。
- ・若年・中堅層の投票率については、同層の政治(選挙)参加意識が向上している可能性がある。
- ・全国的にも、若年・中堅層の割合が多い都市部の都道府県の投票率が高い傾向が見られる。

(表1)

2 期日前投票(県内)の状況

(1) 期日前投票割合の状況【表3・5】

- ・投票者に占める期日前投票者の割合は県全体で46.6%(全国43.2%)であり、前回比+10.1ポイントと大幅に上昇した。(R6衆議比+9.3ポイント)
- ・市町別では、25市町のうち10市町が50%を超えた。
- ・選挙期日が夏休み期間中の3連休の中日になったこと、県・市町選管とともに期日前投票の呼びかけを強化したことなどが主な要因と考えられ、この趨勢は続くものと考えられる。

(2) 県内有権者の投票動向【表6】

- ・期日前投票者は、選挙期間の終盤に向けて漸増し、選挙期日前日の土曜日に最大化している。
- ・選挙期日前週の土日も、平日に比して多い傾向にある。
- ・土日開設が低調な一部の市町においては、土日が平日を下回る状況が見られる。

(3) 県内有権者の年代別投票動向【表7】

- ・若年・中堅層は、土日、商業施設での投票を選ぶ傾向にある。
- ・高齢層は、土日・平日で顕著な差はなく、公共施設利用が多い。

(4) 県内市町の期日前投票所開設の状況【表8・9】

- ・(2)(3)の有権者の投票動向を考慮すると、選挙期日前日の土曜日及び前週の土日の開設状況は、有権者の投票意欲に大きく影響すると考えられる。
- ・公共施設以外の商業集客施設への開設拡大も若年層の投票率向上に有効と考えられる。

- ・諸条件が類似した近隣三県（福島、茨城、群馬）の市との比較では、本県では、平日は近隣県並みか上回る開設日数を確保している傾向にあるが、一部の市において、有権者ニーズの高い土日の開設日数が極端に少ないなど、平日・土日の開設バランスに課題が見られる。

3 投票期間の周知【表10】

- ・24市町において、県選管通知（4/23付け）に基づき、ポスター掲示場啓発欄に「選挙期日」及び「期日前投票期間」を表示
- ・「投票期間」としての周知方法を県選管が決定したのが5/27と遅れたため、作業上、間に合わなかった。

4 管理執行上問題となった事例

（1）鹿沼市

期日前投票所に市内在住者である母親（鹿沼市選挙人名簿登載者）の入場券を持参した市外在住の息子（鹿沼市選挙人名簿非登載者）から、代理投票をしたい旨の申し出があり、入場券の記載内容（宣誓書に息子の名前の署名）の確認が不十分なまま、代理投票の手続きを行い、投票させた。

（2）小山市

開票中、票数が投票者数を上回っていたため、残票や投票録の再点検をしたところ、①票せんが付された2束を足し合わせる際に、別の票せんへの票数の記載に誤りがあったこと、②計数された100票束の1つが101票であったこと、の2点が発覚し、確定までに大幅な遅れが生じた。

（3）真岡市

期日前投票所（市内3箇所）において、選挙システムのトラブル（停止）により、一時的（約10分間）に投票受付ができず、20名以上が立ち去った。

障害発生時、選挙システムが入っているクラウドシステムで業者が作業を行っており、その影響で選挙システムのサーバが高負荷状態となり、接続が不可能になった。

5 まとめ

投票率の向上のため、市町選管と共に次の取組を行う。

- （1）若年・中堅層の投票率上昇を持続的なものとするため、投票環境の整備、主権者教育の充実を進める。
 - ・期日前投票所の土日開設拡大
 - ・商業・集客施設への設置拡大
- （2）高齢化・過疎化の進行を見据え、期日前投票所の最適化を図る。
 - ・開設日数の平日・土日バランスの再検討
 - ・移動式への移行を含めた効率化
- （3）「投票期間」周知の浸透
 - ・各種啓発資器材、ホームページ等の内容見直し
 - ・立候補者、政党、報道機関等への協力要請

表 1

全国の投票率の状況

2022参議院選挙 投票率

順位	投票率
1 山形県	61.9
2 長野県	57.7
3 東京都	56.6
4 島根県	56.4
5 山梨県	56.2
6 奈良県	55.9
7 秋田県	55.6
8 岩手県	55.4
9 福井県	55.3
10 新潟県	55.3
11 滋賀県	54.6
12 神奈川県	54.5
13 北海道	54.0
14 岐阜県	53.6
15 福島県	53.4
16 大分県	53.0
17 静岡県	53.0
18 三重県	52.8
19 大阪府	52.4
20 和歌山县	52.4
21 愛知県	52.2
22 兵庫県	51.6
23 富山県	51.4
24 佐賀県	51.1
25 京都府	50.9
26 沖縄県	50.6
27 埼玉県	50.3
28 千葉県	50.0
29 青森県	49.5
30 香川県	49.2
31 熊本県	49.1
32 烏取媛県	48.9
33 愛媛県	48.8
34 宮崎県	48.8
35 福岡県	48.8
36 長崎県	48.7
37 鹿児島県	48.6
38 群馬県	48.5
39 山口県	47.6
40 宮崎県	47.5
41 高知県	47.4
42 国山県	47.2
43 茨城県	47.2
44 栃木県	47.0
45 広島県	46.8
46 石川県	46.4
47 徳島県	45.7

全国平均 52.0
全国平均との差 -5.0

2025参議院選挙 ①投票率

順位	前回比	投票率	前回比
1 山形県	62.5	0.7	0
2 新潟県	61.7	6.4	8
3 東京都	61.5	5.0	0
4 奈良県	61.5	5.6	2
5 山梨県	61.5	5.2	0
6 長野県	61.1	3.4	-4
7 福井県	60.8	5.5	2
8 兵庫県	60.5	8.9	14
9 三重県	60.5	7.7	9
10 新潟県	60.3	5.8	2
11 長野県	60.2	8.0	10
12 佐賀県	60.1	9.0	12
13 滋賀県	59.7	5.1	-2
14 北海道	59.7	5.7	1
15 北島根県	59.6	3.2	-11
16 静岡県	59.5	6.5	1
17 歌院県	59.2	6.8	3
18 大阪府	59.1	6.7	1
19 岩手県	59.1	3.7	-11
20 熊本県	59.0	9.9	11
21 岐阜県	59.0	5.4	-7
22 大分県	59.0	6.0	6
23 京都府	58.7	7.8	2
24 石川県	58.7	12.3	22
25 秋田県	58.6	3.0	-18
26 福島県	58.4	5.0	-11
27 富山県	58.1	6.7	-4
28 宮崎県	57.2	9.7	12
29 高知県	56.9	9.5	12
30 香川県	56.9	6.6	-3
31 沖縄県	56.7	6.2	-5
32 愛媛県	56.7	7.9	1
33 鹿児島県	56.5	7.8	4
34 香川県	56.5	7.2	-4
35 長崎県	55.8	7.1	1
36 千葉県	55.7	5.7	-8
37 福岡県	55.7	6.9	-2
38 1山口県	55.4	7.8	1
39 宮崎県	55.4	6.6	-5
40 群馬県	55.1	6.6	-2
41 鳥取県	55.0	6.1	-9
42 茨城県	54.7	7.5	1
43 青森県	54.2	4.7	-14
44 岡山県	54.2	7.0	-2
45 広島県	53.9	7.1	0
46 徳島県	53.6	6.6	-2
47 大阪府	50.5	4.8	0

②期日前投票率

順位	投票率
1 秋田県	37.7
2 福井県	31.9
3 山形県	31.6
4 和歌山县	31.3
5 山梨県	30.7
6 福島県	30.5
7 石川県	30.3
8 大分県	30.3
9 熊本県	29.5
10 岐阜県	29.4
11 京都府	29.4
12 佐賀県	29.3
13 岩手県	29.0
14 島根県	28.9
15 宮崎県	28.7
16 長崎県	28.3
17 茨城県	28.2
18 愛媛県	28.1
19 新潟県	27.6
20 鹿児島県	27.0
21 滋賀県	27.0
22 青森県	26.8
23 沖縄県	26.8
24 三重県	26.8
25 国営公園	26.6
26 香川県	26.6
27 高知県	26.4
28 奈良県	25.7
29 福岡県	25.6
30 爱媛県	25.4
31 兵庫県	25.2
32 沖縄県	25.0
33 熊本県	24.9
34 山口県	24.7
35 北海道	24.5
36 宮城県	24.4
37 東京都	24.3
38 1山梨県	24.2
39 群馬県	24.1
40 美奈子	23.7
41 静岡県	23.5
42 神奈川県	23.2
43 広島県	22.5
44 京都府	22.5
45 埼玉県	22.0
46 徳島県	21.8
47 大阪府	21.5

③投票率(前回比)

順位	前回比
1 秋田県	12.3
2 熊本県	9.9
3 宮崎県	9.7
4 高知県	9.5
5 佐賀県	9.0
6 兵庫県	8.9
7 爱媛県	8.0
8 爱媛県	7.9
9 鹿児島県	7.8
10 岐阜県	7.8
11 京都府	7.8
12 佐賀県	7.7
13 岩手県	7.5
14 香川県	7.2
15 宮崎県	7.1
16 長崎県	7.1
17 岡山県	7.0
18 福岡県	6.9
19 山口県	6.8
20 富山県	6.7
21 大阪府	6.7
22 埼玉県	6.6
23 群馬県	6.6
24 青森県	6.6
25 宫城県	6.6
26 静岡県	6.5
27 新潟県	6.4
28 沖縄県	6.2
29 鳥取県	6.1
30 大分県	6.0
31 神奈川県	5.8
32 沖縄県	5.8
33 富山県	5.7
34 奈良県	5.6
35 福井県	5.5
36 岩手県	5.5
37 岐阜県	5.4
38 滋賀県	5.3
39 福島県	5.0
40 東京都	5.0
41 徳島県	4.8
42 静岡県	4.7
43 青森県	4.7
44 京都府	4.7
45 埼玉県	4.7
46 岐阜県	4.6
47 大阪府	4.6

④期日前投票率(前回比)

順位	前回比
1 富士市	10.0
2 熊本県	9.5
3 宮崎県	9.4
4 福井県	9.0
5 佐賀県	8.9
6 高知県	8.8
7 和歌山县	8.3
8 爱媛県	7.9
9 鹿児島県	7.8
10 岐阜県	7.8
11 京都府	7.8
12 佐賀県	7.7
13 岩手県	7.6
14 香川県	7.5
15 宮崎県	7.5
16 長崎県	7.4
17 岡山県	7.4
18 福岡県	7.3
19 山口県	7.3
20 富山県	7.3
21 大阪府	7.3
22 埼玉県	7.1
23 群馬県	7.1
24 青森県	7.0
25 宫城県	7.0
26 静岡県	7.0
27 新潟県	7.0
28 沖縄県	7.0
29 福島県	6.9
30 東京都	6.9
31 神奈川県	6.9
32 沖縄県	6.8
33 宮崎県	6.8
34 岩手県	6.7
35 福井県	6.7
36 岩手県	6.6
37 静岡県	6.2
38 長野県	6.1
39 京都府	6.0
40 奈良県	6.0
41 北海道	6.0
42 東京都	5.8
43 岐阜県	5.8
44 京都府	5.8
45 徳島県	5.4
46 大阪府	5.1
47 沖縄県	4.8

(参考)2024衆議院選挙 投票率

順位	投票率
1 山形県	60.8
2 秋田県	59.4
3 新潟県	58.6
4 奈良県	58.5
5 岐阜県	58.1
6 高知県	57.4
7 富山県	57.2
8 新潟県	56.9
9 山口県	56.8
10 岩手県	56.2
11 福井県	56.1
12 熊本県	56.0
13 大分県	55.9
14 佐賀県	55.6
15 北海道	55.4
16 静岡県	55.3
17 山口県	55.2
18 福岡県	55.1
19 長崎県	54.9
20 滋賀県	54.7
21 富山県	54.5
22 奈良県	54.5
23 鹿児島県	54.5
24 三重県	53.9
25 兵庫県	53.7
26 冲縄県	53.5
27 岐阜県	53.1
28 香川県	52.9
29 大阪府	52.6
30 徳島県	52.5
31 静岡県	52.4
32 宮崎県	52.2
33 広島県	52.1
34 熊本県	52.1
35 宫城県	52.1
36 静岡県	52.0
37 兵庫県	51.9
38 京都府	51.6
39 福岡県	51.6
40 奈良県	51.1
41 大阪府	50.8
42 宫城県	50.6
43 千葉県	50.2
44 岩手県	50.2
45 沖縄県	50.0
46 群馬県	49.9
47 青森県	48.4

(参考)2007参議院選挙 投票率

順位	投票率
1 島根県	71.8
2 和歌山县	69.3
3 秋田県	67.7
4 鳥取県	67.3
5 山形県	65.0
6 長野県	65.0
7 富山県	64.6
8 新潟県	63.7
9 岩手県	63.4
10 福井県	63.3
11 熊本県	63.1
12 大分県	63.0
13 佐賀県	62.9
14 佐賀県	62.9
15 北海道	62.4
16 山口県	62.0
17 愛媛県	61.9
18 福岡県	61.6
19 熊本県	61.6
20 長崎県	61.5
21 岩手県	61.5
22 奈良県	60.8
23 鹿児島県	60.7
24 三重県	60.6
25 滋賀県	60.3
26 冲縄県	60.3
27 岐阜県	59.2
28 香川県	59.1
29 香川県	58.8
30 徳島県	58.5
31 静岡県	58.4
32 高知県	58.4
33 東京都	57.9
34 広島県	56.9
35 宫城県	56.8
36 沖縄県	56.7
37 兵庫県	56.6
38 京都府	56.4
39 埼玉県	56.4
40 神奈川県	56.3
41 大阪府	55.8
42 宫城県	55.8
43 千葉県	55.1
44 福岡県	54.8
45 沖縄県	54.6
46 群馬県	54.6
47 茨城県	54.0
48 滋賀県	53.9

58.6
-2.0

表2

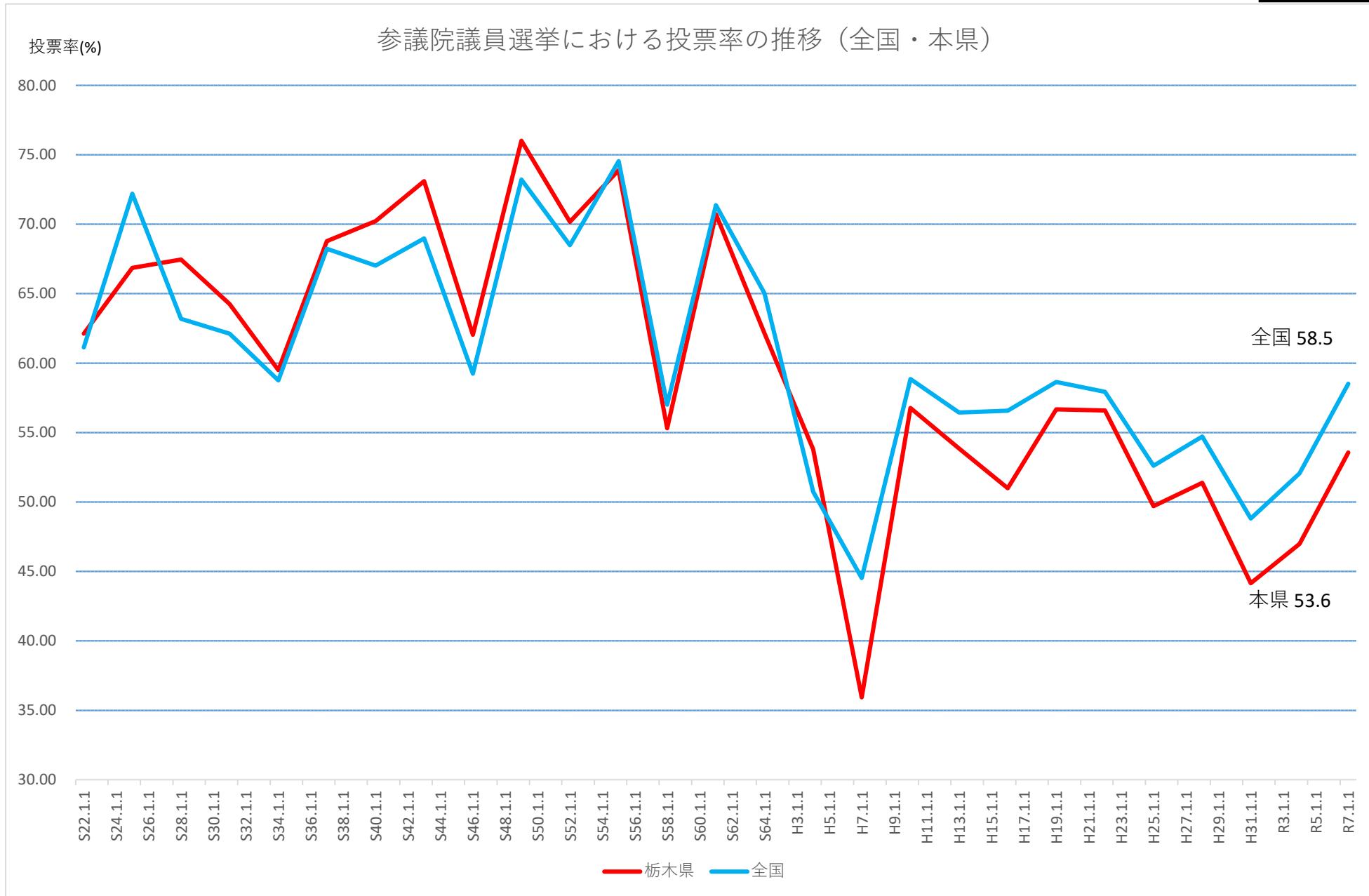


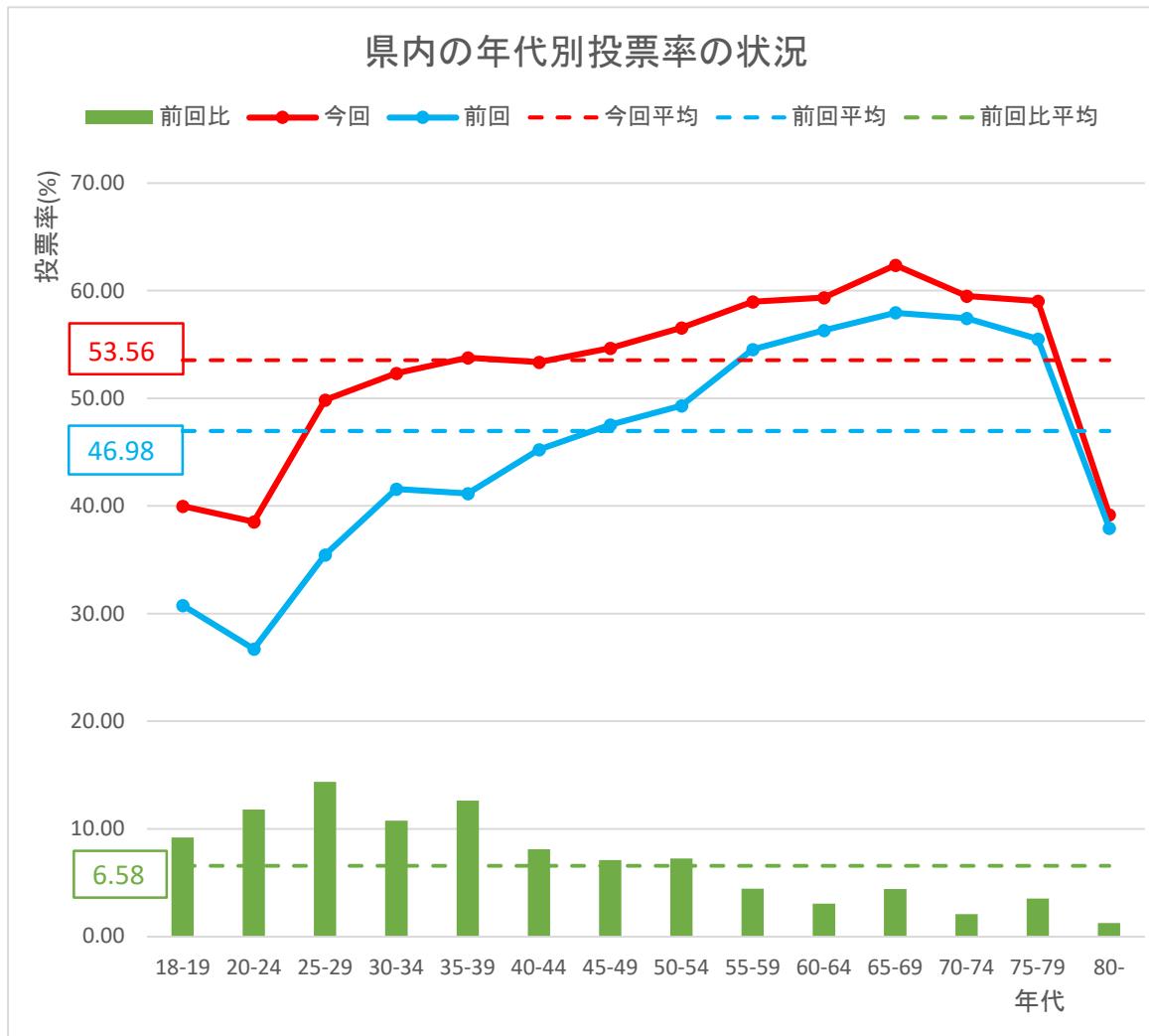
表3

県内市町の投票率の状況

※ 今回期日前投票所(土日)を拡充した5市

2022参議院選挙 投票率		2025参議院選挙 ①投票率		②期日前投票率		③期日前投票割合		④投票率(前回比)		⑤期日前投票率(前回比)		(参考)2024衆議院選挙 投票率	
順位	投票率	順位	投票率	順位	投票率	順位	期日前割合	順位	前回比	順位	前回比	順位	投票率
1 茂木町	58.9	1 高根沢町	60.7	11.4	1 那須烏山市	38.4	1 那須烏山市	68.3	11.4	1 高根沢町	10.8	1 茂木町	62.2
2 芳賀町	54.6	2 -1茂木町	60.3	1.4	2 茂木町	35.0	2 茂木町	58.1	8.7	2 那珂川町	10.6	2 那須烏山市	60.0
3 益子町	51.7	3 -1芳賀町	59.3	4.7	3 市貝町	32.8	3 那須町	57.8	8.6	3 柄木市	10.2	3 益子町	58.5
4 市貝町	51.3	4 0市貝町	58.0	6.7	4 益子町	32.6	4 那珂川町	57.6	8.2	4 小山市	10.0	4 那珂川町	58.1
5 下野市	51.2	5 -2益子町	57.7	6.0	5 那須町	32.6	5 市貝町	56.5	8.1	5 大田原市	9.8	5 芳賀町	57.1
6 那須町	51.0	6 -1下野市	56.6	5.4	6 那珂川町	31.4	6 益子町	56.4	8.1	6 塩谷町	8.3	6 市貝町	56.4
7 野木町	50.8	7 -1那須町	56.4	5.3	7 高根沢町	29.4	7 壬生町	53.2	6.9	7 宇都宮市	8.2	7 那須町	56.1
8 上三川町	49.6	8 7那須烏山市	56.2	8.7	8 壬生町	29.1	8 那須塩原市	52.8	6.9	8 矢板市	8.2	8 矢板市	53.9
9 高根沢町	49.4	9 -2野木町	56.1	5.3	9 芳賀町	28.1	9 日光市	51.2	6.7	9 佐野市	7.9	9 壬生町	53.8
10 さくら市	49.3	10 -2上三川町	55.5	6.0	10 那須塩原市	27.0	10 大田原市	50.6	6.7	10 那須町	7.9	10 野木町	53.6
11 矢板市	48.5	11 7壬生町	54.7	8.2	11 矢板市	26.9	11 矢板市	49.2	6.4	11 芳賀町	7.9	11 下野市	53.5
12 那珂川町	47.8	12 -1矢板市	54.6	6.1	12 日光市	26.8	12 真岡市	49.2	6.2	12 柄木市	7.8	12 大田原市	52.6
13 宇都宮市	47.6	13 -1那珂川町	54.6	6.9	13 大田原市	26.3	13 高根沢町	48.5	6.1	13 野木町	7.7	13 真岡市	52.2
14 塩谷町	47.6	14 -1宇都宮市	54.4	6.9	14 真岡市	25.7	14 さくら市	47.8	6.0	14 矢板市	7.7	14 高根沢町	51.3
15 那須烏山市	47.5	15 6小山市	53.8	8.1	15 さくら市	25.7	15 佐野市	47.6	6.0	15 市貝町	7.4	15 塩谷町	51.2
16 真岡市	47.2	16 -6さくら市	53.6	4.3	16 柄木市	25.0	16 芳賀町	47.5	5.4	16 日光市	7.4	16 日光市	50.3
17 佐野市	46.6	17 2鹿沼市	53.2	6.7	17 佐野市	24.3	17 柄木市	47.5	5.3	17 那須町	7.3	17 那須塩原市	50.0
18 壬生町	46.5	18 6柄木市	52.8	8.6	18 宇都宮市	24.1	18 塩谷町	45.4	5.3	18 小山市	7.2	18 佐野市	49.8
19 鹿沼市	46.4	19 -5塩谷町	52.6	5.0	19 野木町	24.0	19 鹿沼市	45.0	5.0	19 真岡市	7.2	19 さくら市	49.7
20 日光市	46.1	20 0日光市	52.4	6.4	20 鹿沼市	23.9	20 宇都宮市	44.3	5.0	20 那須塩原市	6.8	20 上三川町	49.4
21 小山市	45.7	21 -5真岡市	52.2	5.0	21 塩谷町	23.9	21 上三川町	43.0	4.8	21 益子町	6.7	21 佐野市	48.8
22 足利市	45.2	22 3大田原市	51.9	8.1	22 上三川町	23.9	22 小山市	42.9	4.7	22 芳賀町	6.6	22 足利市	48.6
23 那須塩原市	44.9	23 0那須塩原市	51.2	6.2	23 小山市	23.1	23 野木町	42.8	4.3	23 佐野市	5.8	23 宇都宮市	48.6
24 柄木市	44.2	24 -7佐野市	51.0	4.3	24 下野市	23.0	24 下野市	40.6	4.3	24 さくら市	5.5	24 柄木市	48.5
25 大田原市	43.9	25 -3足利市	50.1	4.8	25 足利市	18.8	25 足利市	37.5	1.4	25 上三川町	4.9	25 鹿沼市	48.1
県計	47.0		53.6	6.6		25.0		46.6		6.6		7.8	50.2
市計	46.5		53.1	6.6		24.4		46.0		6.6		7.8	49.6
町計	50.2		56.8	6.6		28.9		51.0		6.6		7.9	54.5
全国計	52.0		58.5	6.5		25.1		43.2		6.5		6.4	53.8

表4



	今回	前回	回	前回比
18-19	39.97	30.76	9.21	
20-24	38.54	26.73	11.81	
25-29	49.84	35.47	14.37	
30-34	52.33	41.57	10.76	
35-39	53.79	41.16	12.63	
40-44	53.36	45.25	8.11	
45-49	54.65	47.54	7.11	
50-54	56.57	49.32	7.25	
55-59	58.98	54.55	4.43	
60-64	59.37	56.33	3.04	
65-69	62.38	57.97	4.41	
70-74	59.50	57.43	2.07	
75-79	59.03	55.51	3.52	
80-	39.19	37.93	1.26	
全体会	53.56	46.98	6.58	

- ・各市町において標準的な投票率を示している投票区各1ヶ所、計25投票区を抽出

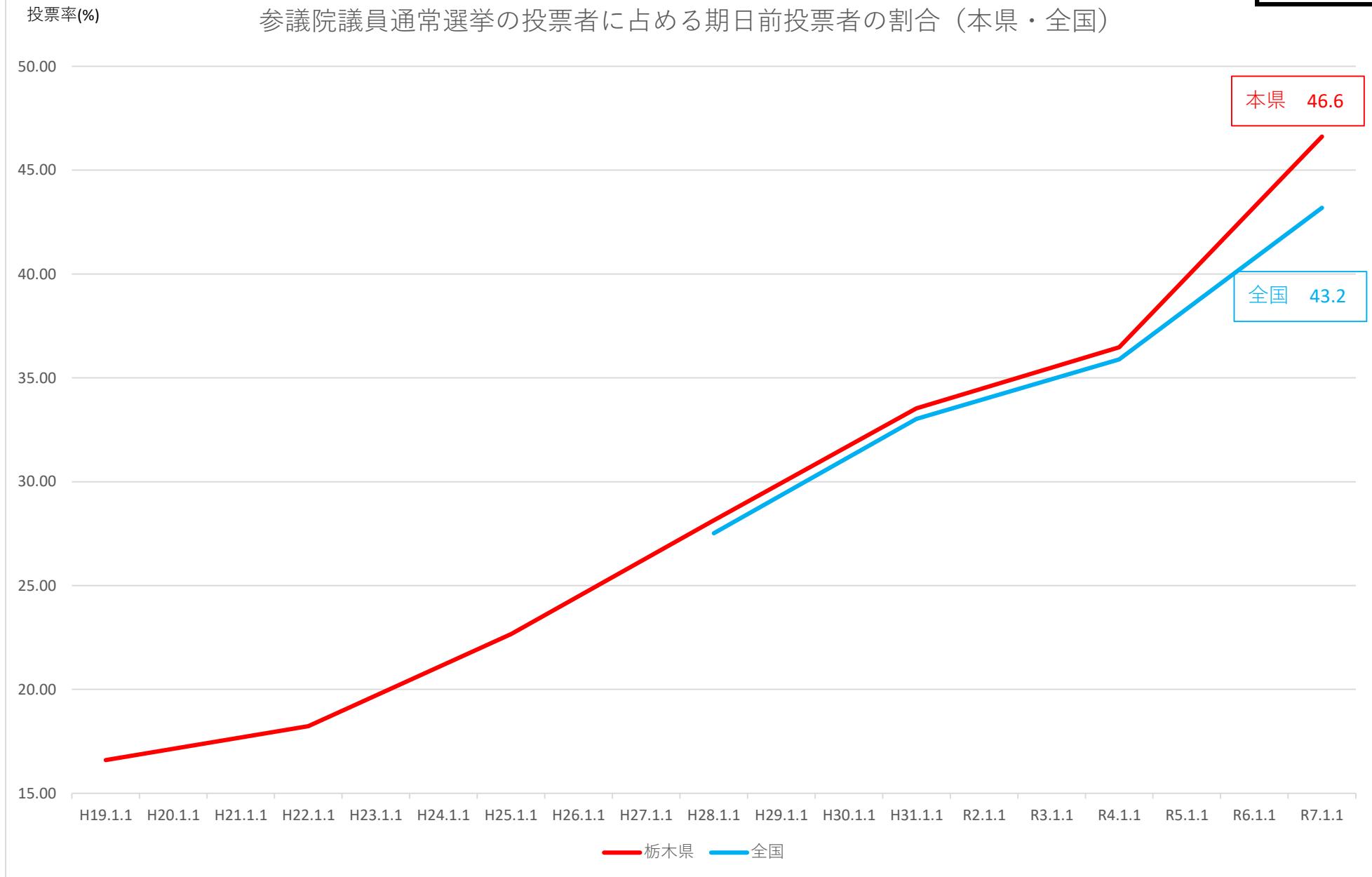
- ・抽出した投票区について、年齢別に投票率を調査

- ・集計の結果、実投票率と若干の乖離が生じたため、補正の上、各年齢別投票率を推計

※参考

県内の投票区数 771投票区

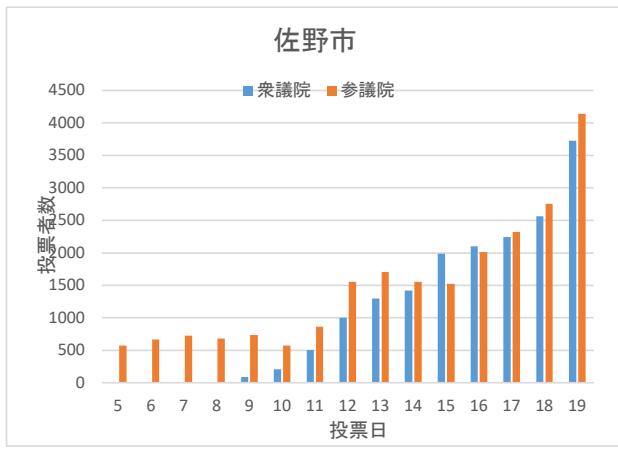
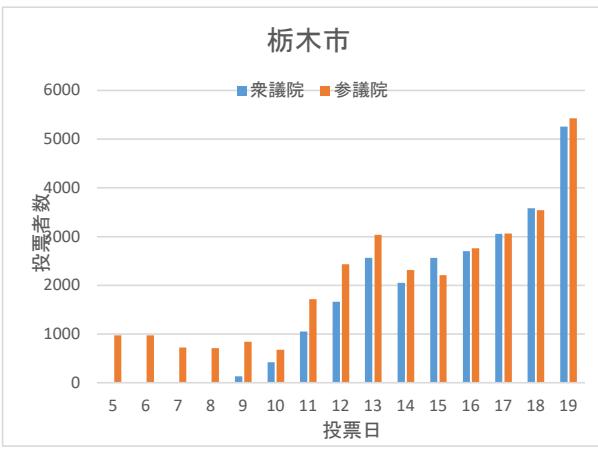
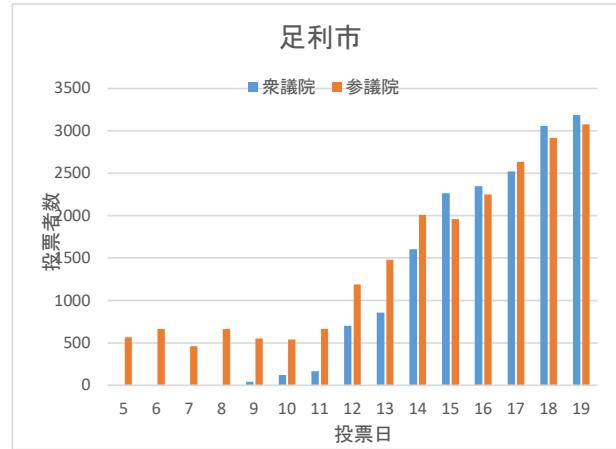
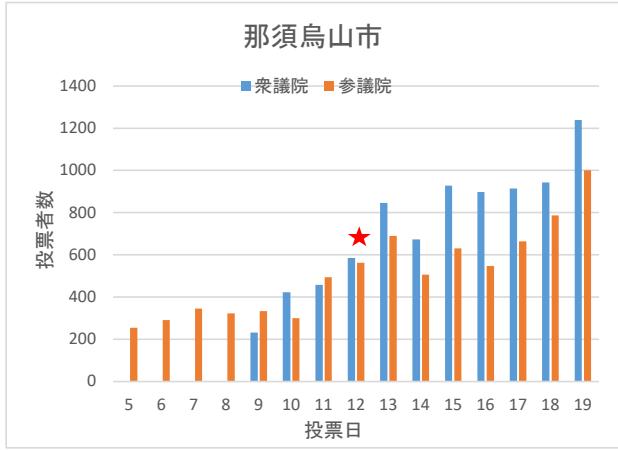
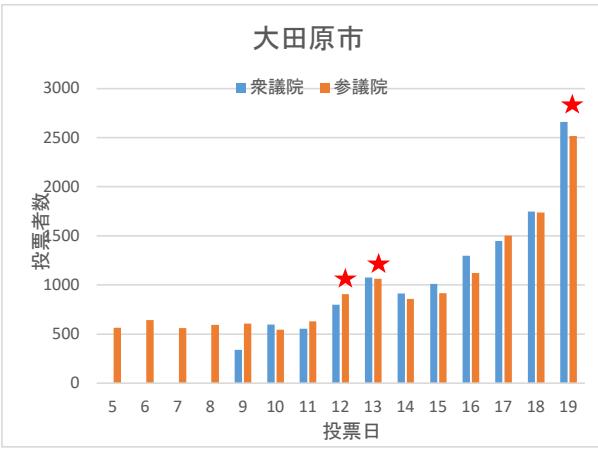
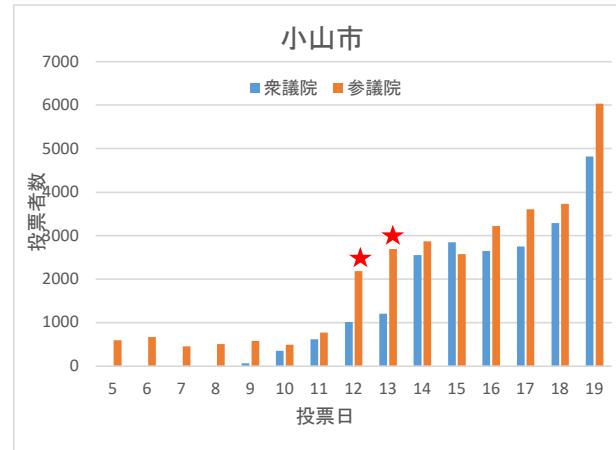
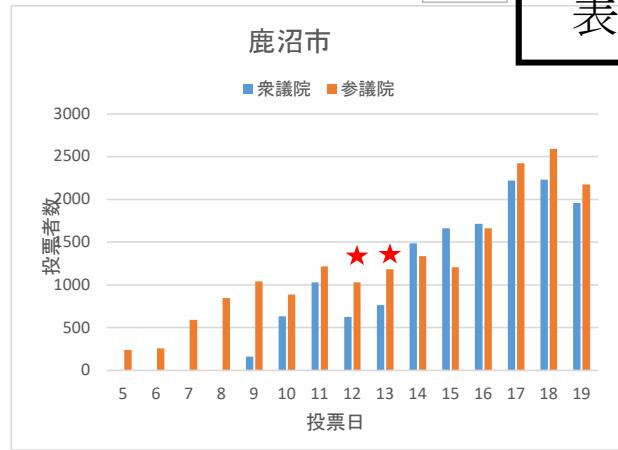
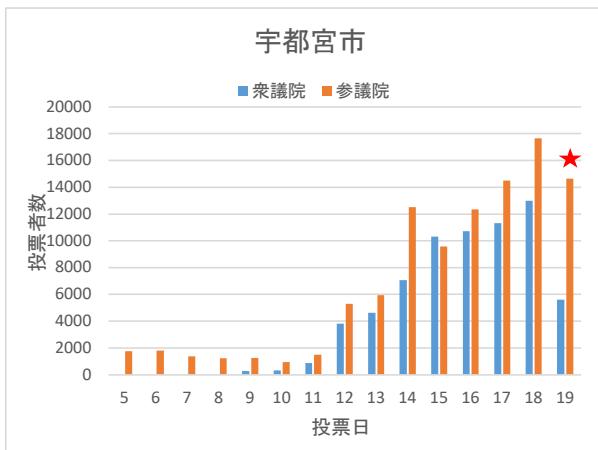
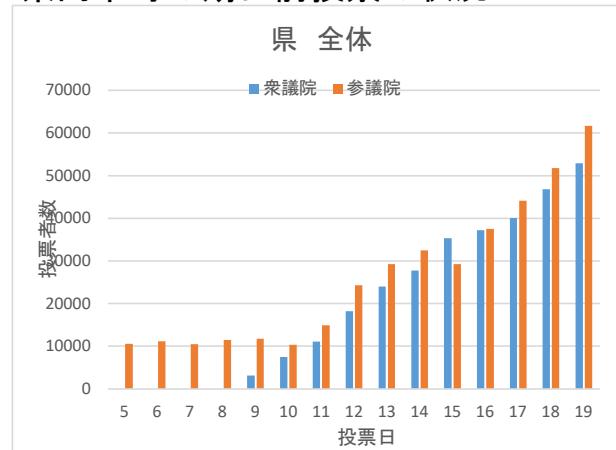
表 5

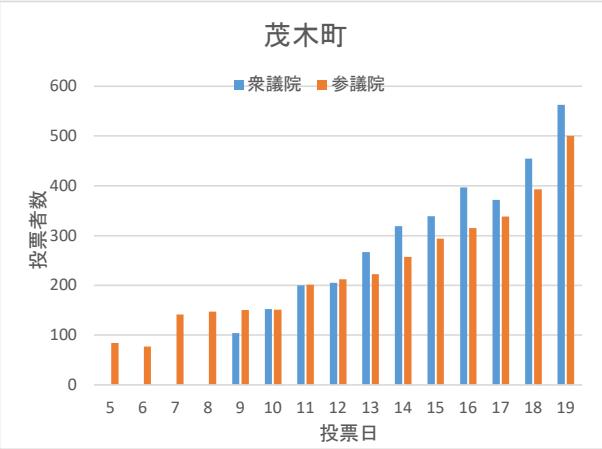
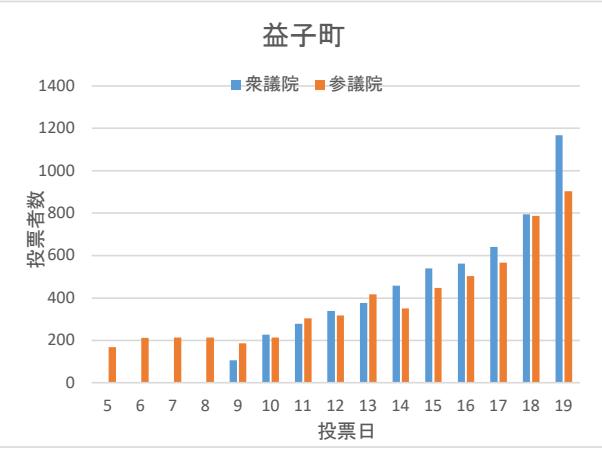
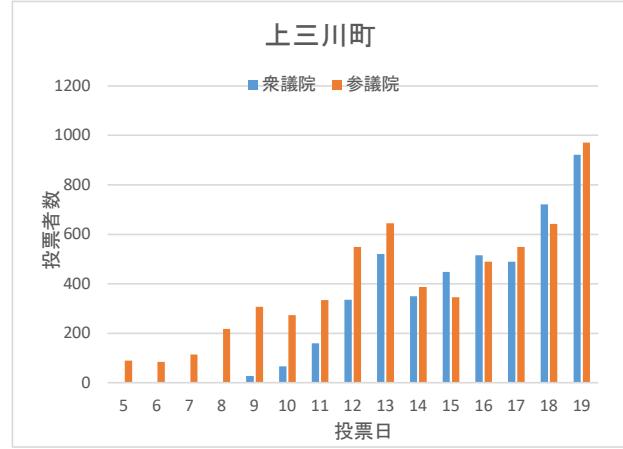
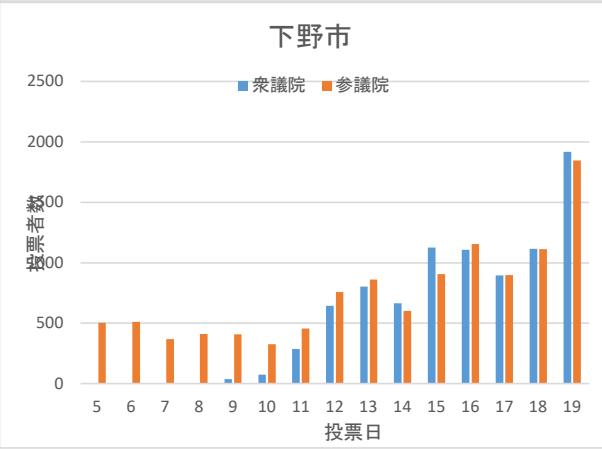
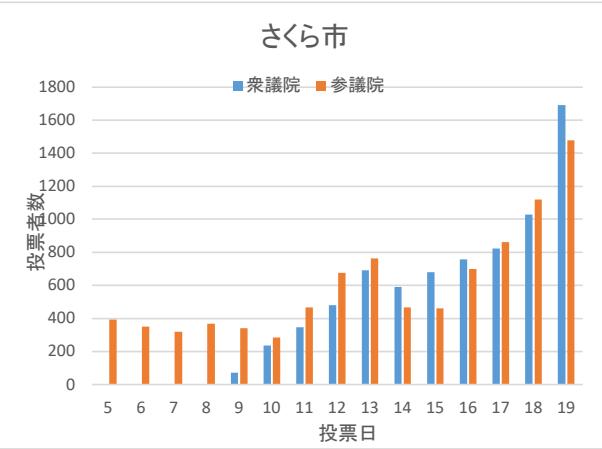
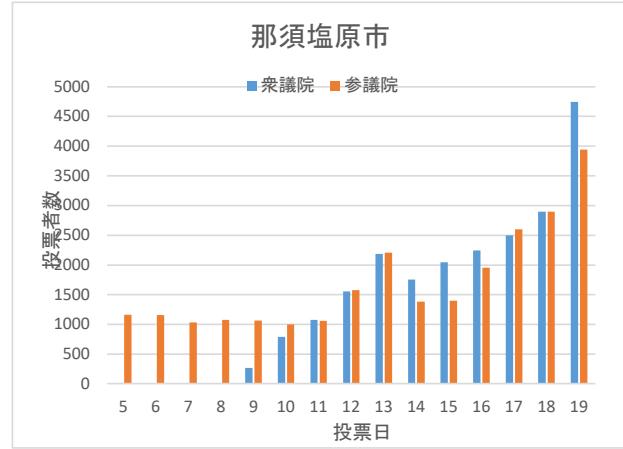
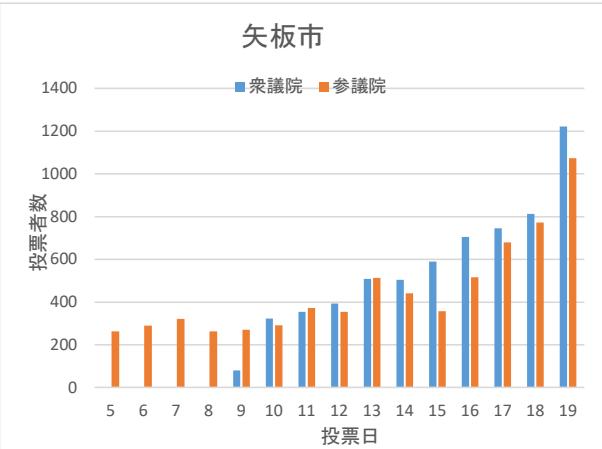
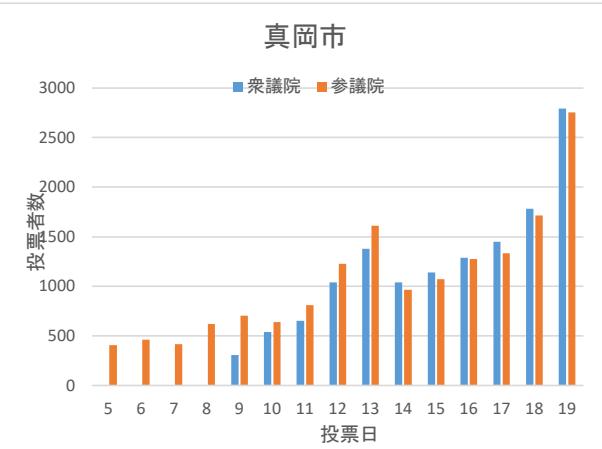
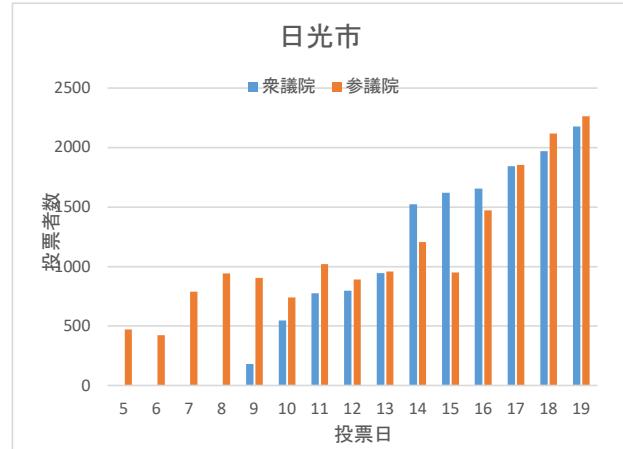


県内市町の期日前投票の状況

★拡充

表 6





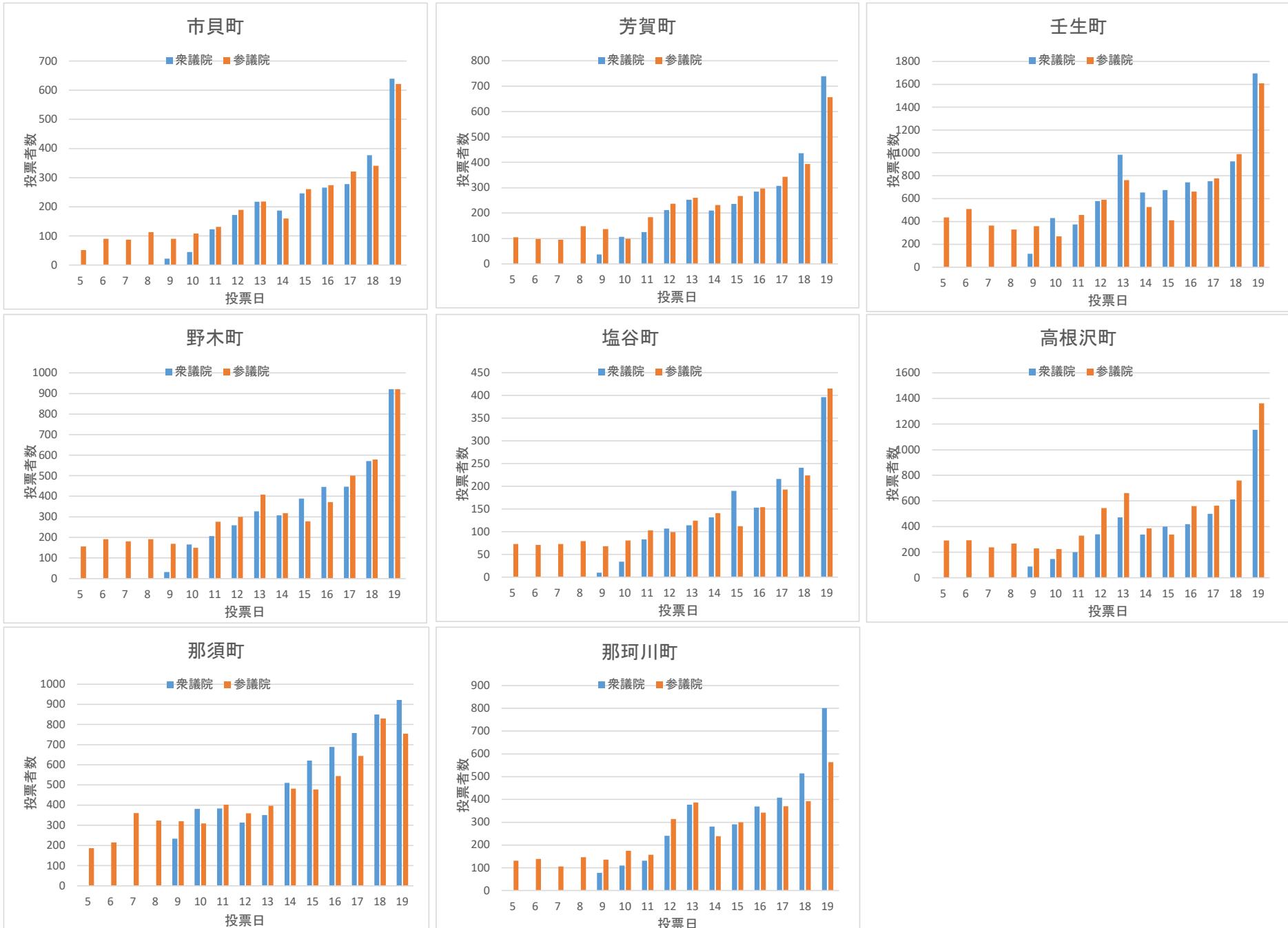
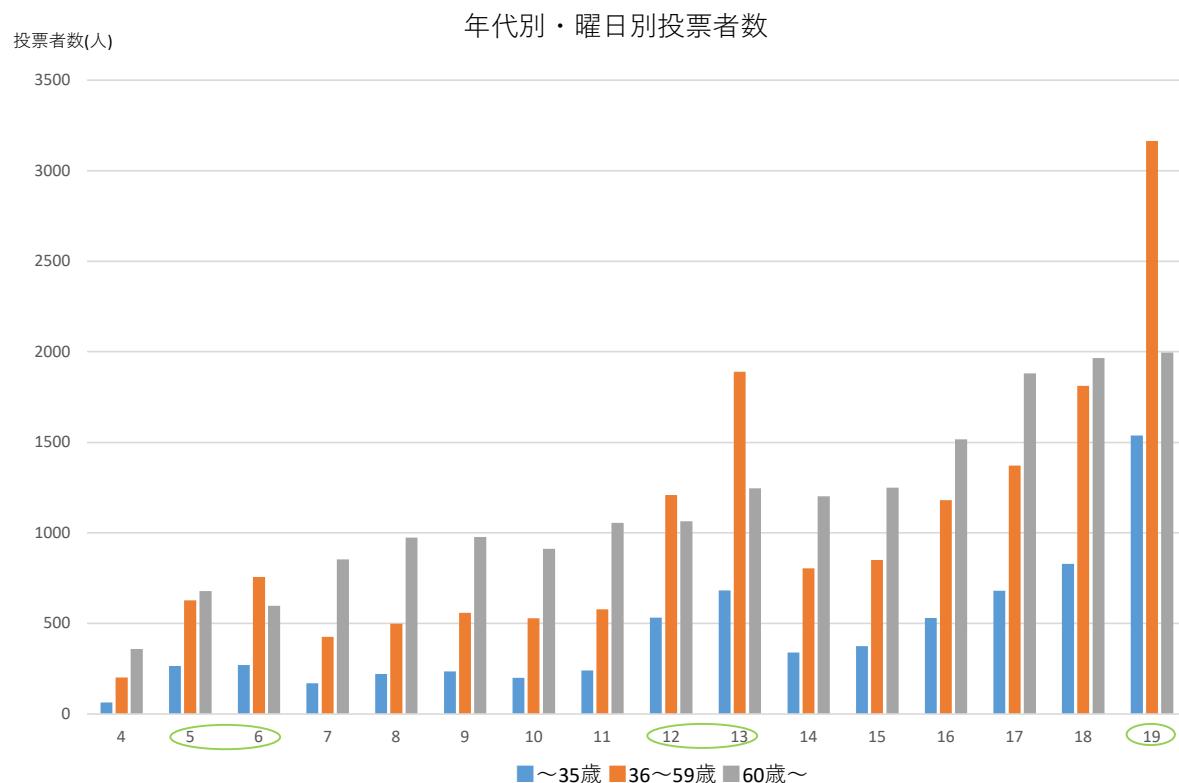


表 7

年代別期日前投票の状況



年代別投票先施設の投票者割合

~35歳



36~59歳



60歳～



年代別・平日・土日の投票者割合

~35歳



36~59歳



60歳～



■土日 ■平日

抽出調査（2市（真岡市、那須塩原市））により年代別（35歳以下、36～59歳、60歳以上）、施設別（商業施設、公共施設）に集計

	商業施設	公共施設
真岡市	イオンタウン真岡	市役所、二宮コミュニティセンター
那須塩原市	イオンタウン那須塩原	市役所、西那須野庁舎、塩原庁舎、ハロープラザ（関谷）

表8

県内市町の期日前投票所開設の状況

建制順

	有権者数 a	期日前投票所延べ設置日数				有権者1万人当たり延べ開設日数			備考
		平日 b=c+d	土日 c	うち前日 d	f=10000*b/a	平日 g=10000*c/a	土日 h=10000*d/a		
宇都宮市	427,031	108	94	14	8	2.53	2.20	0.33	期日前+
足利市	116,611	117	107	10	2	10.03	9.18	0.86	
栃木市	127,749	130	97	33	7	10.18	7.59	2.58	
佐野市	94,514	62	43	19	5	6.56	4.55	2.01	
鹿沼市	78,338	160	153	7	1	20.42	19.53	0.89	期日前+
日光市	64,652	190	165	25	7	29.39	25.52	3.87	
小山市	135,223	78	66	12	6	5.77	4.88	0.89	期日前+
真岡市	62,832	48	33	15	3	7.64	5.25	2.39	
大田原市	57,200	54	38	16	4	9.44	6.64	2.80	期日前+
矢板市	25,871	18	13	5	1	6.96	5.02	1.93	
那須塩原市	96,365	80	55	25	5	8.30	5.71	2.59	
さくら市	36,000	32	22	10	2	8.89	6.11	2.78	
那須烏山市	20,501	38	26	12	2	18.54	12.68	5.85	期日前+
下野市	49,678	18	13	5	1	3.62	2.62	1.01	
上三川町	25,431	16	11	5	1	6.29	4.33	1.97	
益子町	18,243	16	11	5	1	8.77	6.03	2.74	
茂木町	10,107	16	11	5	1	15.83	10.88	4.95	
市貝町	9,402	26	19	7	3	27.65	20.21	7.45	
芳賀町	12,790	16	11	5	1	12.51	8.60	3.91	
壬生町	32,051	48	33	15	3	14.98	10.30	4.68	
野木町	21,100	16	11	5	1	7.58	5.21	2.37	
塩谷町	8,648	16	11	5	1	18.50	12.72	5.78	
高根沢町	24,323	16	11	5	1	6.58	4.52	2.06	
那須町	20,787	32	22	10	2	15.39	10.58	4.81	
那珂川町	12,510	36	22	14	2	28.78	17.59	11.19	
市 計	1,392,565	1,133	925	208	54	8.14	6.64	1.49	
町 計	195,392	254	173	81	17	13.00	8.85	4.15	
県 計	1,587,957	1,387	###	289	71	8.73	6.91	1.82	

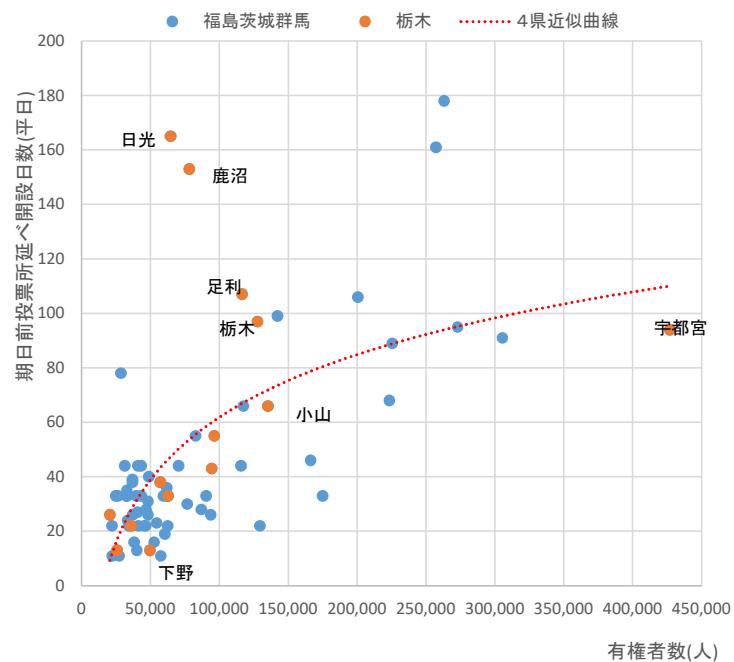
有権者数順

	有権者数 a	期日前投票所延べ設置日数				有権者1万人当たり延べ開設日数			備考
		平日 b=c+d	土日 c	うち前日 d	f=10000*b/a	平日 g=10000*c/a	土日 h=10000*d/a		
宇都宮市	427,031	108	94	14	8	2.53	2.20	0.33	期日前+
小山市	135,223	78	66	12	6	5.77	4.88	0.89	期日前+
栃木市	127,749	130	97	33	7	10.18	7.59	2.58	
足利市	116,611	117	107	10	2	10.03	9.18	0.86	
那須塩原市	96,365	80	55	25	5	8.30	5.71	2.59	
佐野市	94,514	62	43	19	5	6.56	4.55	2.01	
鹿沼市	78,338	160	153	7	1	20.42	19.53	0.89	期日前+
日光市	64,652	190	165	25	7	29.39	25.52	3.87	
真岡市	62,832	48	33	15	3	7.64	5.25	2.39	
大田原市	57,200	54	38	16	4	9.44	6.64	2.80	期日前+
下野市	49,678	18	13	5	1	3.62	2.62	1.01	
さくら市	36,000	32	22	10	2	8.89	6.11	2.78	
壬生町	32,051	48	33	15	3	14.98	10.30	4.68	
矢板市	25,871	18	13	5	1	6.96	5.02	1.93	
上三川町	25,431	16	11	5	1	6.29	4.33	1.97	
高根沢町	24,323	16	11	5	1	6.58	4.52	2.06	
野木町	21,100	16	11	5	1	7.58	5.21	2.37	
那須町	20,787	32	22	10	2	15.39	10.58	4.81	
那須烏山市	20,501	38	26	12	2	18.54	12.68	5.85	期日前+
益子町	18,243	16	11	5	1	8.77	6.03	2.74	
芳賀町	12,790	16	11	5	1	12.51	8.60	3.91	
那珂川町	12,510	36	22	14	2	28.78	17.59	11.19	
茂木町	10,107	16	11	5	1	15.83	10.88	4.95	
市貝町	9,402	26	19	7	3	27.65	20.21	7.45	
塩谷町	8,648	16	11	5	1	18.50	12.72	5.78	
市 計	1,392,565	1,133	925	208	54	8.14	6.64	1.49	
町 計	195,392	254	173	81	17	13.00	8.85	4.15	
県 計	1,587,957	1,387	###	289	71	8.73	6.91	1.82	

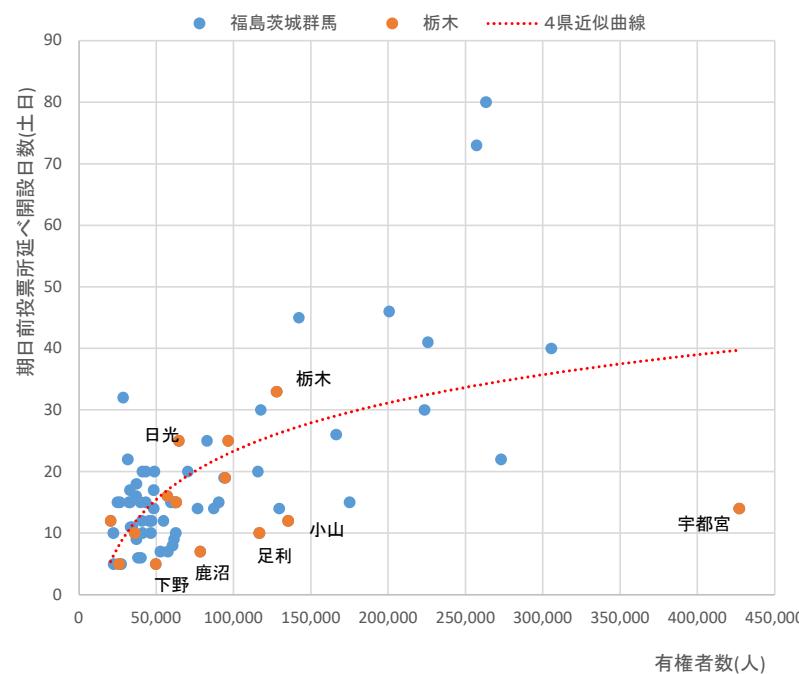
表 9

期日前投票所開設日数(近隣三県の市との比較)

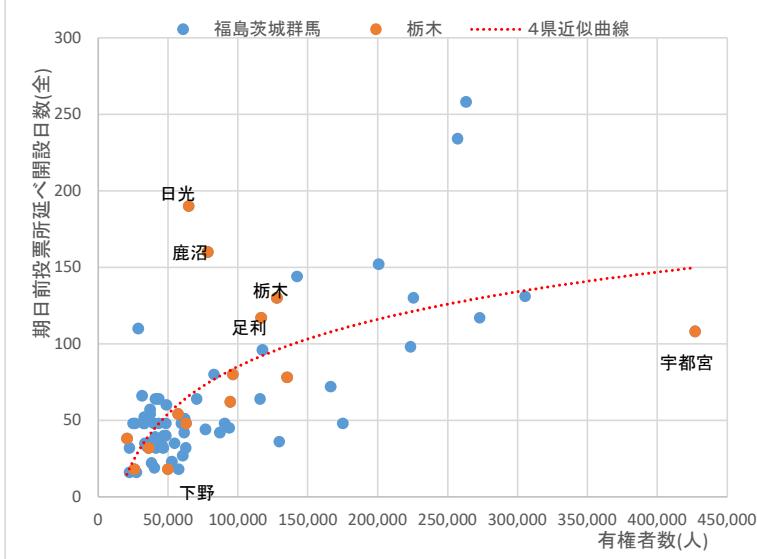
有権者数と期日前投票所延べ開設日数(平日)



有権者数と期日前投票所延べ開設日数(土日)



有権者数と期日前投票所延べ開設日数(全日)



①近隣県と比較しての栃木県の特徴(問題点)

平日は近隣県並みか上回る開設日数を確保している一方で、土日の開設日数が少ない市がみられる。

②個別の状況

宇都宮市：平日の開設日数は標準的だが、土日の開設が少ない。

小山市：平日の開設日数は標準的だが、土日の開設が少ない。

栃木市：平日、土日ともに標準を上回り、バランスがよい。

足利市：平日の開設日数は標準を上回るもの、土日の開設が少ない。

鹿沼市：平日の開設日数はきわめて多いが、土日の開設が極めて少ない。

日光市：平日の開設日数がきわめて多く、土日の開設は標準的である。

下野市：平日、土日ともに開設がやや少ない。

他の市：平日、土日ともに人口(有権者数)に対して標準的な開設である。

ポスター掲示場の啓発欄

ポスター掲示場の啓発欄については、以下のような経過があった。

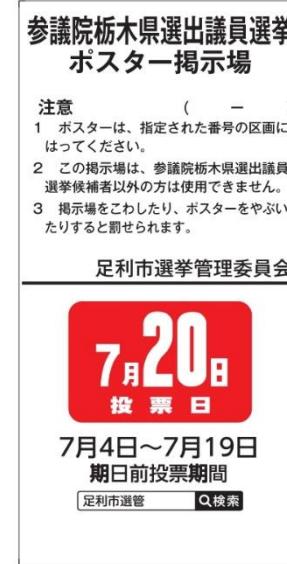
- ・4月23日付け査定委第11号「第27回参議院議員通常選挙におけるポスター掲示場の設置等について」において「選挙期日」と及び「期日前投票期間」を大きく表示すること。併せて、「期日前投票所一覧」を表示すること。(二次元コードでの案内可)と通知
- ・5月27日開催の第770回委員会において「投票期間 7月4日～20日(大きな字) 期日前4日～19日(小さな字)」との周知にすることを決定した旨を市町へ周知
- ・結果的には、ほとんどの市町において、4月23日付け査定委第11号通知の内容を記載

【市町別啓発欄一覧】

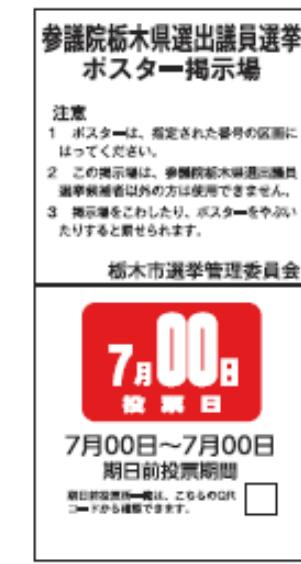
1 宇都宮市



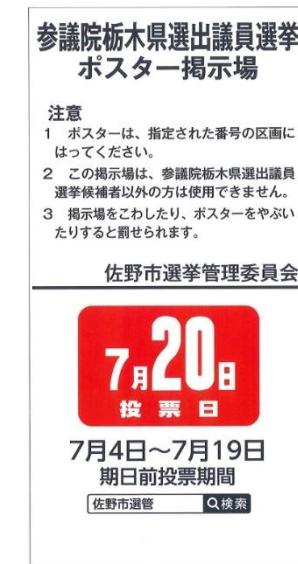
2 足利市



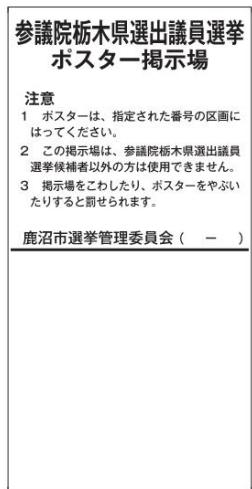
3 栃木市



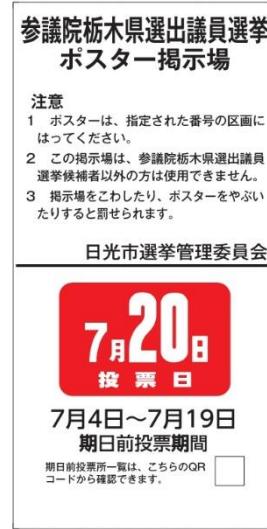
4 佐野市



5 鹿沼市

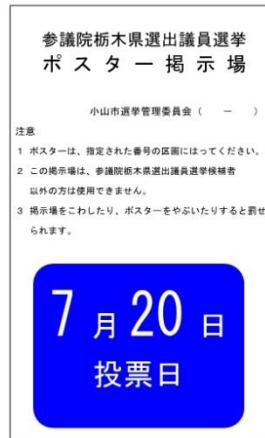


6 日光市

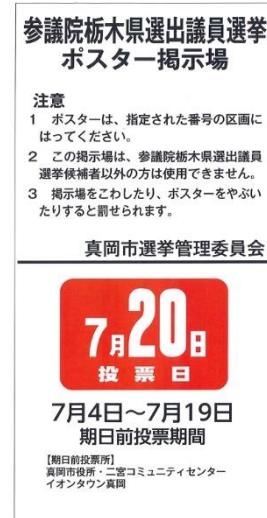


7 小山市

別図2 (表題部) ※選挙期日が令和7年7月20日の場合



8 真岡市

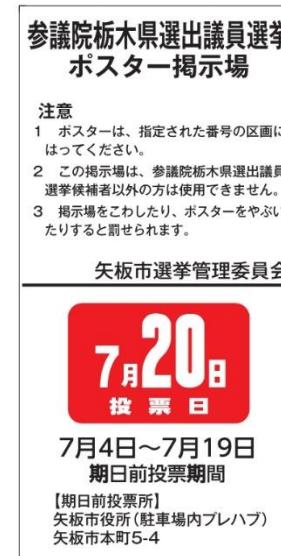


7. 5. 15

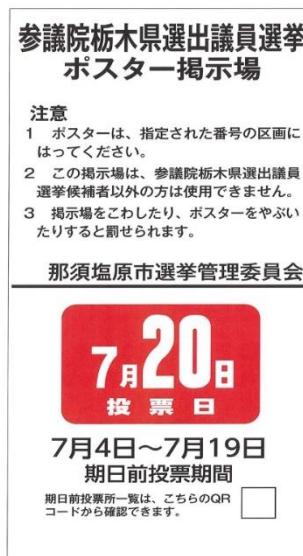
9 大田原市



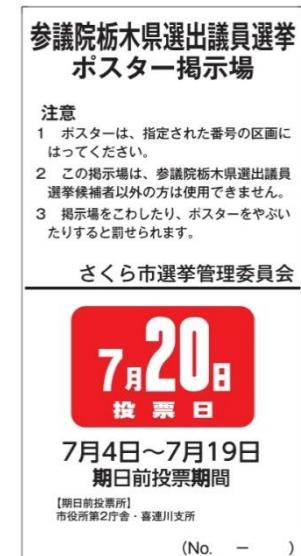
10 矢板市



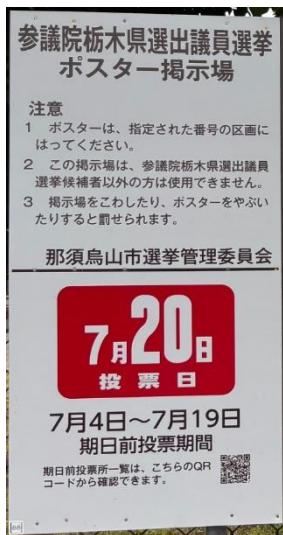
11 那須塩原市



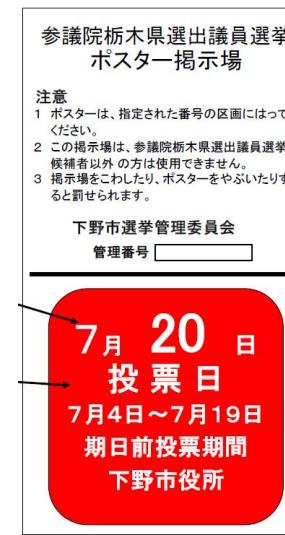
12 さくら市



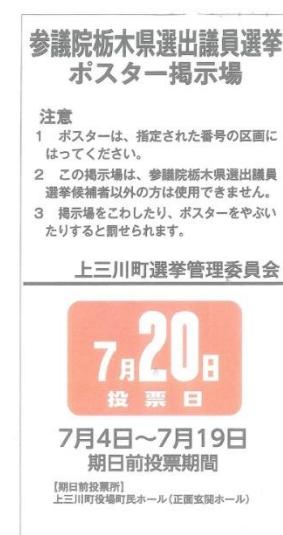
13 那須烏山市



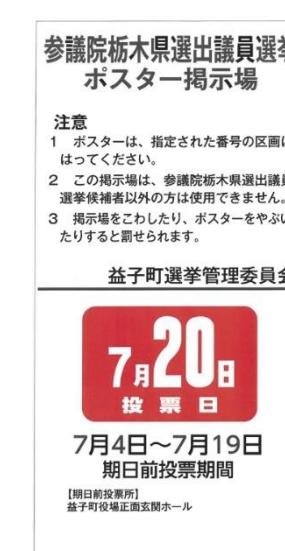
14 下野市



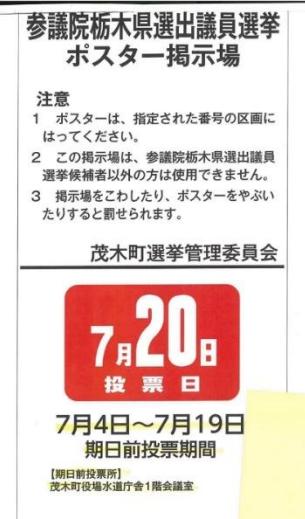
15 上三川町



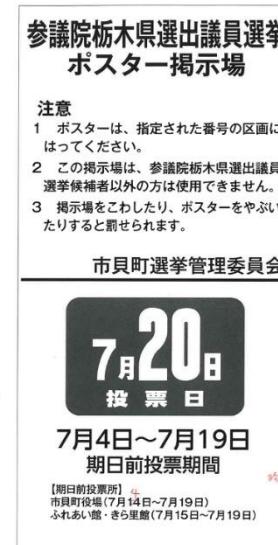
16 益子町



17 茂木町



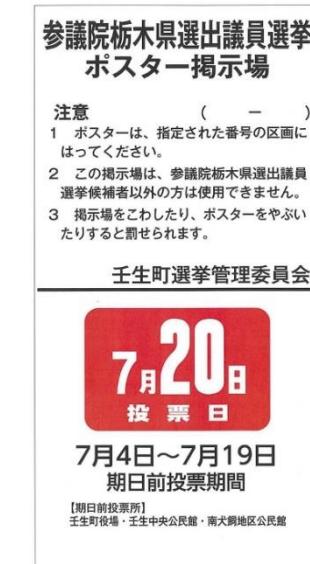
18 市貝町



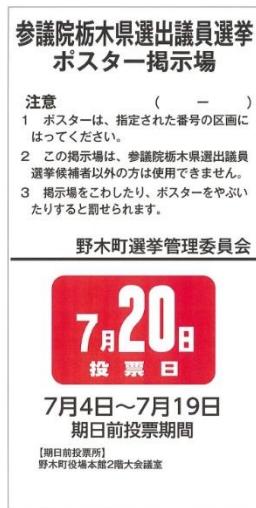
19 芳賀町



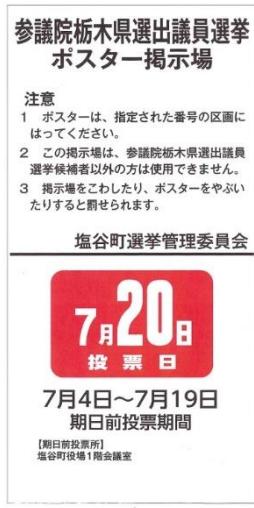
20 壬生町



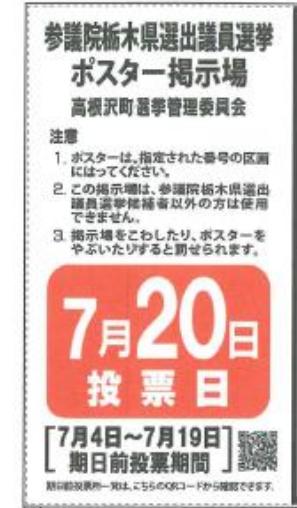
21 野木町



22 塩谷町



23 高根沢町

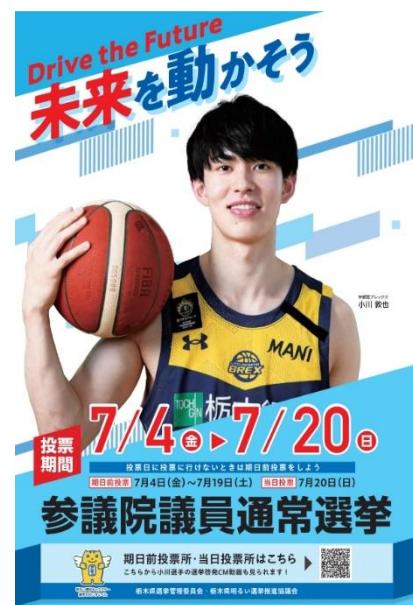
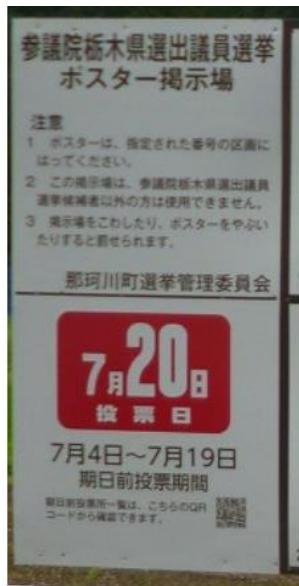


24 那須町



25 那珂川町

<参考> 栃木県ポスター



懸垂幕

